

河川改修事業の再評価項目調書

事業名（箇所名）	高津川直轄河川改修事業								
実施箇所	高津川水系直轄管理区間 島根県益田市								
該当基準	再評価実施後一定期間（3年）が経過している事業								
事業諸元	一般改修（堤防整備、河床掘削、堤防浸透対策） 管理延長 高津川L=14.2km、高津川派川L=2.6km、白上川L=2.0km、匹見川L=1.0km								
事業期間	高津川直轄河川改修事業（整備期間30年）：平成20年度～平成49年度 当面想定している事業（整備期間7年）：平成24年度～平成30年度								
総事業費（億円）	（整備期間30年） 90.4		残事業費（億円）		（整備期間30年） 77.1				
目的・必要性	<p>高津川は、下流部に人口と資産の集中する益田市街地を控え、既往最大の昭和47年7月洪水、昭和58年7月洪水、平成9年7月洪水等により、過去、幾多の甚大な被害が発生している。</p> <p>益田市の石西地域における都市機能の中核性や資産の集積状況を考えれば、堤防決壊による被害は深刻なものになることが予想される。このため、治水・利水・環境のバランスを考慮した高津川の計画的な治水対策を実施していく必要がある。</p> <p>（洪水実績）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昭和47年7月洪水：家屋浸水戸数1,983戸、浸水面積1,254ha ・昭和58年7月洪水：家屋浸水戸数 313戸、浸水面積 222ha ・平成9年7月洪水：家屋浸水戸数 25戸、浸水面積 123ha <p>（災害発生時の影響：浸水想定区域内）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○人口：13,577人 ○世帯数：5,054世帯 ○重要な公共施設等：益田市役所、益田広域消防本部、益田労働基準監督署、益田税務署、益田郵便局、益田市立図書館、JR山陰本線・山口線、益田港、国道9号、191号線、益田道路 ○災害弱者関連施設：益田市保健センター、益田市福祉事務所、益田市総合福祉センター ○その他：島根県芸術文化センター、高津地区振興センター 								
便益の主な根拠	年平均浸水軽減世帯数 13世帯（当面想定している事業 18世帯） 年平均浸水軽減面積 6ha（当面想定している事業 3ha）								
事業全体の投資効率性	B：総便益	（億円）	C：総費用	（億円）	B/C	B-C	EIRR	基準年度	
	直轄河川改修事業	総便益	73	総費用	65	1.1	7	4.5%	H23
	残事業	総便益	145	総費用	51	2.8	94	21.5%	H23
	当面想定している事業（整備期間7年）	総便益	118	総費用	26	4.6	92	26.7%	H23
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> ・下流区間（益田市街地）においては、4,900m³/s（高角地点：河川整備基本方針で定めた河道において分担する流量4,900m³/sに相当する洪水）が発生しても安全に流下させる。 ・上流区間においては、既往第2位の昭和18年9月洪水が再び発生しても、安全に流下させる。（神田：2,700m³/s） <p>浸水世帯数 1567世帯 ⇒ 0世帯 浸水面積 468ha ⇒ 65ha 被害額 506億円 ⇒ 3億円</p>								

<p>社会情勢等の変化</p>	<p><地域状況></p> <ul style="list-style-type: none"> ・流域内の人口・世帯数は減少しているが、相次いで開発された萩・石見空港、石見臨空ファクトリーパーク、益田地区国営農地開発事業を基盤とした工業・農業等の振興が期待されている。 ・近年でも洪水被害を受けており、治水事業の要望は強い。 <p><事業に関わる地域の人口、資産等の変化></p> <p>【主要自治体（益田市）指標】</p> <table border="0"> <tr> <td>○人口</td> <td>: 0.96倍 (52,368人/54,622人)</td> <td><H17数値/H12数値></td> </tr> <tr> <td>内高齢者率</td> <td>: 1.11倍 (28.3%/25.4%)</td> <td>< " ></td> </tr> <tr> <td>○世帯数</td> <td>: 1.00倍 (19,333世帯/19,422世帯)</td> <td>< " ></td> </tr> <tr> <td>○事業所</td> <td>: 0.92倍 (2,919事業所/3,166事業所)</td> <td><H18数値/H13数値></td> </tr> <tr> <td>○従業者</td> <td>: 0.97倍 (21,381人/21,975人)</td> <td>< " ></td> </tr> </table>	○人口	: 0.96倍 (52,368人/54,622人)	<H17数値/H12数値>	内高齢者率	: 1.11倍 (28.3%/25.4%)	< " >	○世帯数	: 1.00倍 (19,333世帯/19,422世帯)	< " >	○事業所	: 0.92倍 (2,919事業所/3,166事業所)	<H18数値/H13数値>	○従業者	: 0.97倍 (21,381人/21,975人)	< " >
○人口	: 0.96倍 (52,368人/54,622人)	<H17数値/H12数値>														
内高齢者率	: 1.11倍 (28.3%/25.4%)	< " >														
○世帯数	: 1.00倍 (19,333世帯/19,422世帯)	< " >														
○事業所	: 0.92倍 (2,919事業所/3,166事業所)	<H18数値/H13数値>														
○従業者	: 0.97倍 (21,381人/21,975人)	< " >														
<p>事業の進捗状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成20年7月3日に高津川水系河川整備計画(国管理区間)策定。 ・整備計画対象期間30年を目標に事業を遂行。 ・奥田（高津川右岸5.6k～6.3k）の築堤が完了。 ・現在までの進捗率は14.6%（進捗率は全体事業費（総事業費：90.4億円）に対する実績投資額（実績投資額：13.2億円）の比率）、上流区間の区間最小流下能力は14.0k地点においてQ=2,185m³/s（整備計画目標Q=2,700m³/s）であり、下流区間の区間最小流下能力は2.8k地点においてQ=3,169m³/s（整備計画目標Q=3,500m³/s）である。 															
<p>事業の進捗の見込み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・住民意見、関係自治体の長並びに関係機関の意見を伺い策定していることから、今後の円滑な事業進捗が見込まれる。 ・大塚箇所については着手しており、順調に進捗している。 															
<p>コスト削減や代替案立案等の可能性</p>	<p>【コスト削減】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境に配慮して事業を進め、より一層事業効果の発現を図るとともに、今後河道掘削が主な工種となることから、圏域で実施される他工事への建設残土の流用等により、さらなるコスト削減に努める。 <p>【代替案立案の可能性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業の投資効果が再確認できたことから、代替案を検討する必要が無いと考える。 															
<p>対応方針(原案)</p>	<p>継続</p>															
<p>対応方針理由</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・治水安全度向上の必要性、費用対効果、地元の協力体制等を鑑み、事業継続が妥当。 ・今後の詳細な設計段階において、さらなるコスト削減を図るとともに、環境にも配慮して事業を進め、より一層の事業効果の発現に努める。 															
<p>その他</p>	<p>—</p>															

高津川直轄河川改修事業

事業再評価

国土交通省 中国地方整備局

平成23年9月6日

①高津川流域の概要、特徴、過去の洪水被害

②整備目標、期間、実施内容(案)、費用便益比(B/C)算出の流れ

高津川直轄河川改修事業

③高津川直轄河川改修事業（全体事業）

・ 便益の算出方法、費用便益比(B/C)算出、事業効果

④高津川直轄河川改修事業（残事業）

・ 便益の算出方法、費用便益比(B/C)算出、事業効果

⑤高津川直轄河川改修事業（当面7年間の事業）

・ 便益の算出方法、費用便益比(B/C)算出、事業効果

◎今後の対応方針

高津川流域の概要

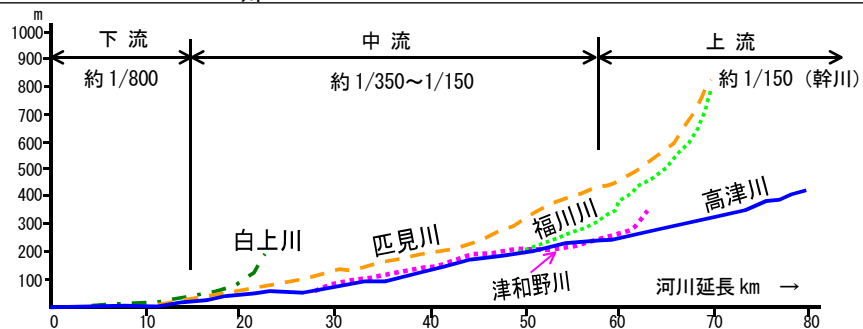
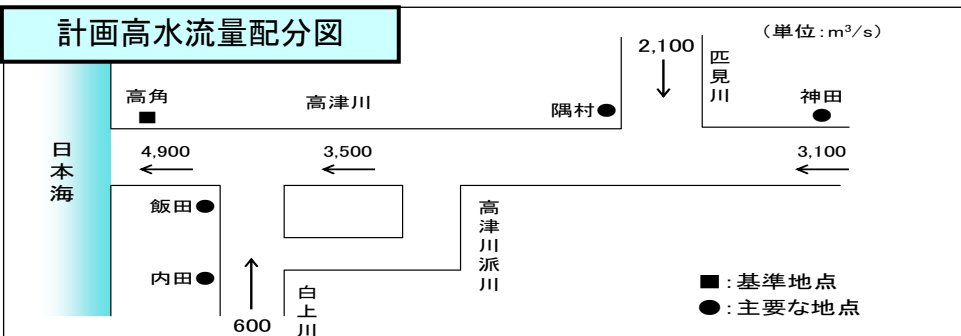
■高津川は島根県西部に位置し、下流部には石西地域の中心都市である益田市街地があり、人口・資産が集中している。

■流域の地形は、全体的に平地に乏しく、急峻な地形となっており、河道は山地内を穿入(せんによう)蛇行しながら谷底を流れ、最下流部でようやく横田盆地・益田平野等の沖積平野が広がる。

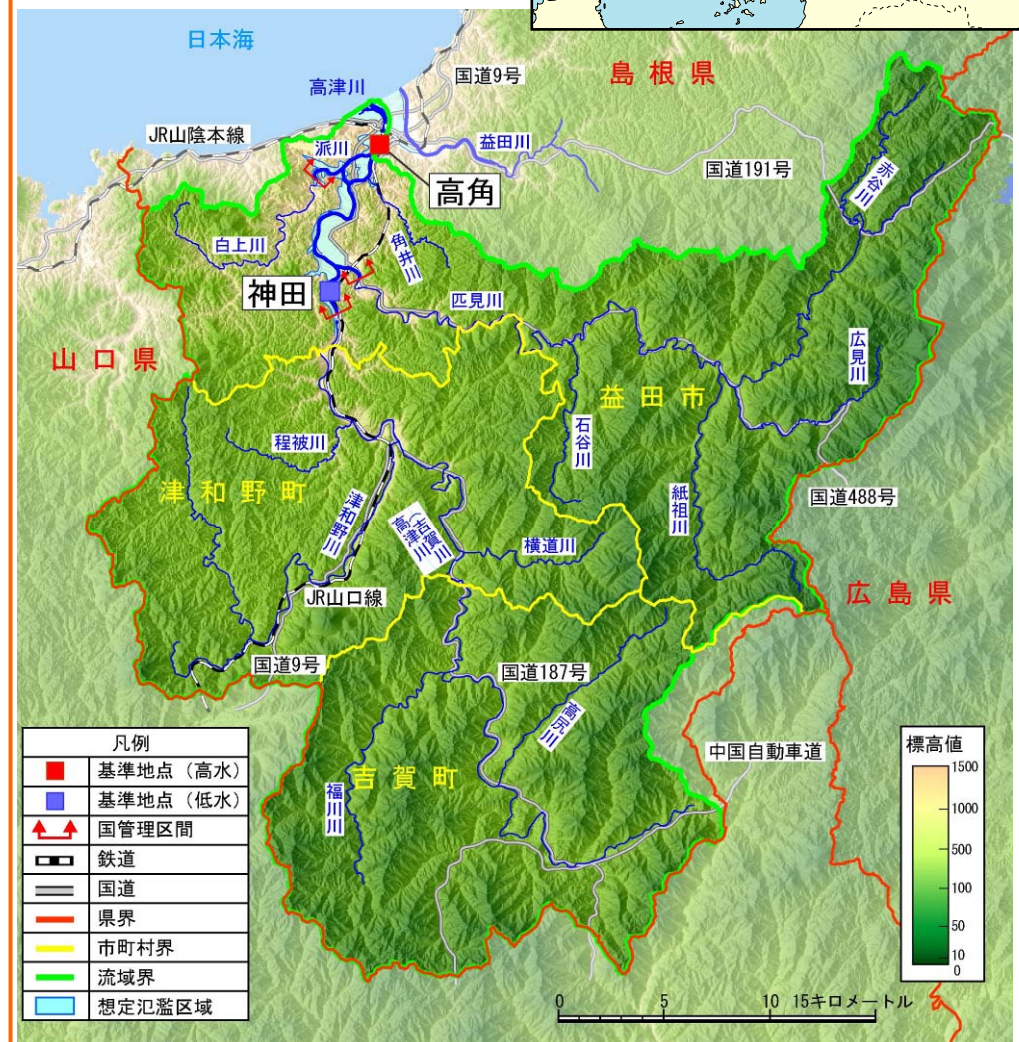
流域及び氾濫域の諸元

- 流域面積(集水面積) : 1,090 km²
- 幹川流路延長 : 81 km
- 流域内人口 : 約3万4千人
- 想定氾濫区域面積 : 39 km²
- 想定氾濫区域内人口 : 約2万1千人
- 想定氾濫区域内資産額 : 約4,800億円
- 流域内市町 : 益田市、津和野町、吉賀町

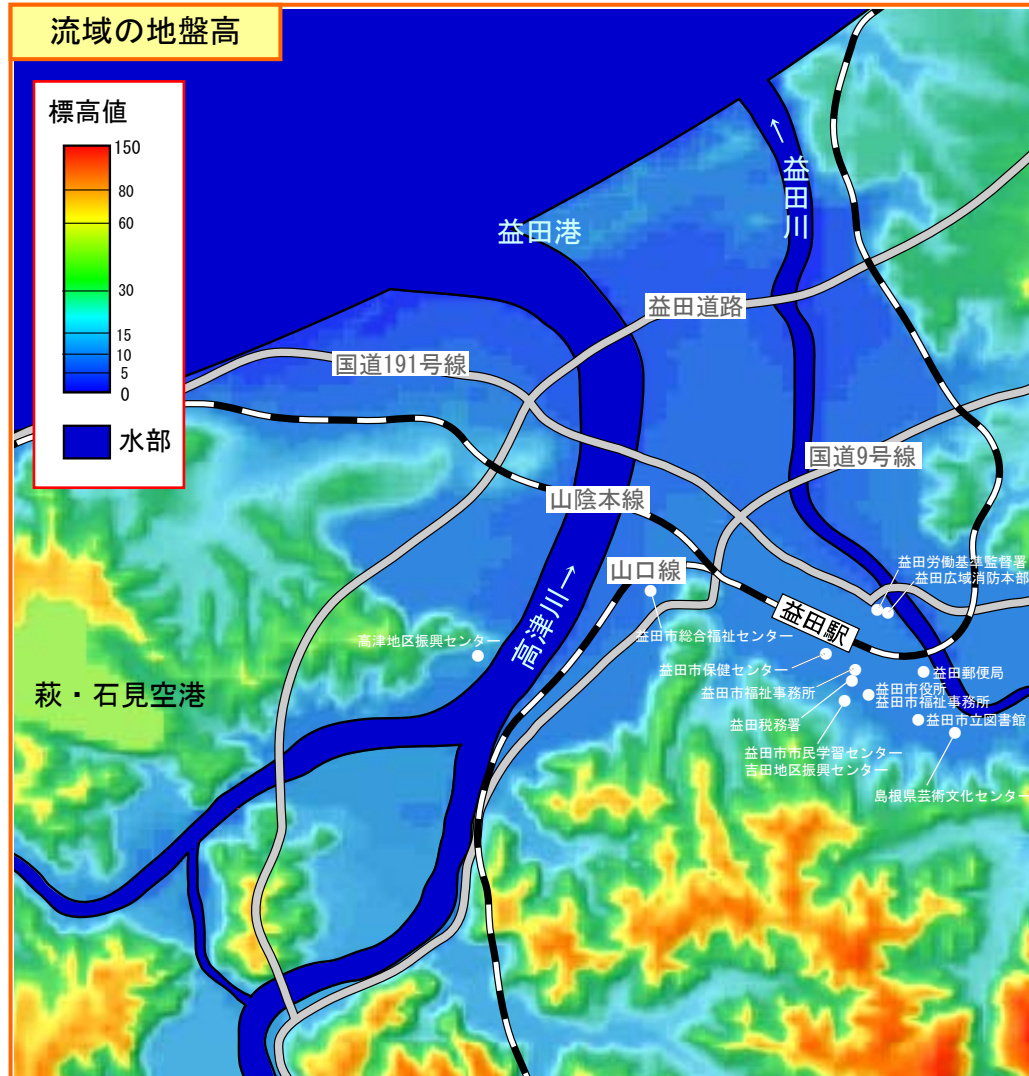
計画高水流量配分図



流域図



- 高津川下流部には、島根県の石西地域の中心都市である益田市があり、この地域における社会、経済、文化の基盤を成している。
- 高津川の下流域は、益田市街地が低平地に広がり、水害を受けやすい地形となっている。
- 高津川河口部は、江戸初期までは隣接する益田川と河口部において合流していたが、藩政時代の河川改修により、津和野藩が水芻工事みずはねを施し、新河川を開削して益田川に流れ込んでいた高津川河口を付け替えさせたものである。



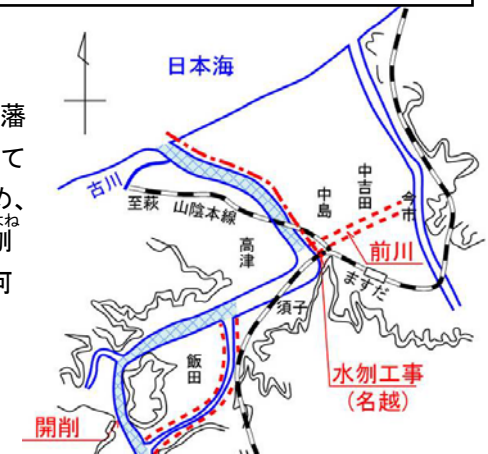
重要な公共施設等

- ・行政機関
 - 益田市役所
 - 益田広域消防本部
 - 益田労働基準監督署
 - 益田税務署
 - 益田郵便局
 - 益田市立図書館
- ・医療・福祉施設
 - 益田市保健センター
 - 益田市福祉事務所
 - 益田市総合福祉センター
- ・その他
 - 島根県芸術文化センター
 - 高津地区振興センター
- ・交通網
 - JR山陰本線、山口線
 - 国道9号、191号線、益田道路、益田港

【藩政時代の河川改修】

江戸時代の元和2年(1616年)、津和野藩主 亀井正矩により、殖産振興を目指して自領内に高津川の河口を位置させるため、津和野・浜田両藩を成す名越なごの地に水芻工事みずはねを施し、藩境に沿って自領内に新河川を開削して高津川を流入させた。

- ▨ : 新たに河道となった区間
- - - : 旧河道
- . - : 津和野、浜田藩界



過去の洪水被害

■高津川の下流域は、益田市街地が低平地に広がり、水害を受けやすい地形となっている。

■過去の主な水害としては、戦後最大流量を観測し堤防決壊等の災害が続出した昭和47年7月洪水等が知られているほか、近年では平成9年7月洪水において浸水被害が発生している。

【主な洪水被害】 出典)建設省河川局「水害統計」、ただし昭和18年は益田市史による

洪水名	成因	高角流量 (m ³ /s)	人的被害	家屋被害			浸水面積 (ha)	一般資産等 被害額 (百万円)
				全半壊 家屋(棟)	床上 浸水(棟)	床下 浸水(棟)		
昭和18年9月洪水	台風	約4,000	(益田町)死者・不明者108名	2,590	314	209	不明	不明
			(美濃郡)死者・不明者136名	3,194	3607		不明	不明
昭和47年7月洪水	梅雨前線	約5,000		64	751	1,232	1,254	1,387
昭和58年7月洪水	梅雨前線	約2,500		60	53	260	222	892
昭和60年6月洪水	梅雨前線	約3,200		2	9	155	348	465
平成9年7月洪水	台風	約3,300				25	123	251



① 昭和18年9月洪水による益田市街地の被災状況



② 昭和47年7月洪水による派川虫追橋の被災状況



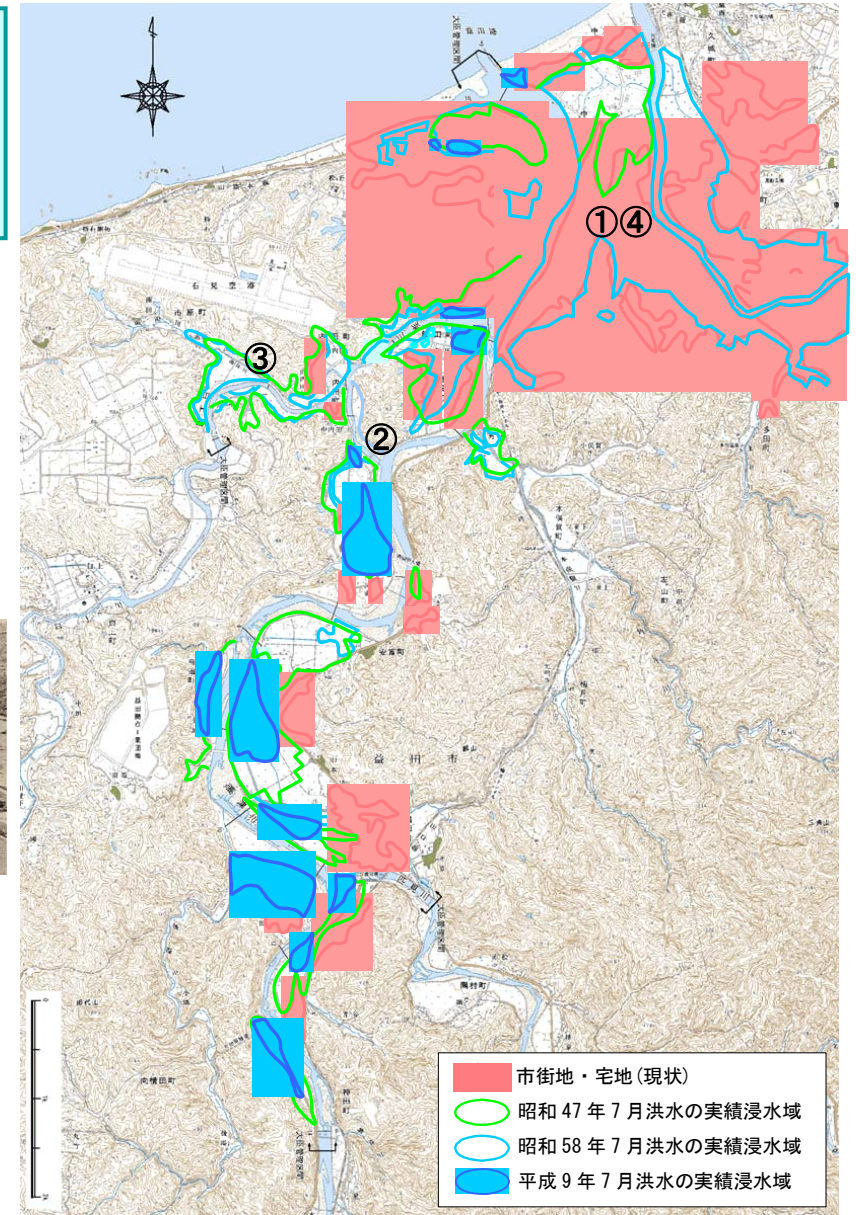
③ 昭和47年7月洪水による白上川の被災状況



④ 昭和18年9月洪水による益田市街地の被災状況



⑤ 平成9年7月洪水による堤防法尻からの漏水対策のための水防活動状況



高津川水系河川整備計画

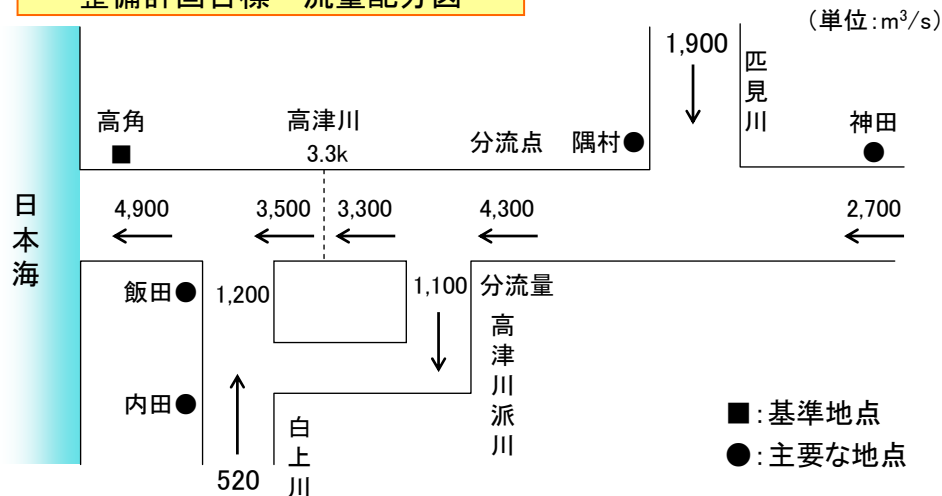
- 高津川水系河川整備基本方針：平成18年2月14日策定
- 高津川水系河川整備計画：平成20年7月3日策定

■整備目標
 高津川の国管理区間においては、流域に壊滅的被害をもたらした既往第2位の昭和18年9月洪水と同規模の洪水を安全に流下させる。さらに、高津川本川と、改修済みの益田川に挟まれた都市の中核機能を擁している益田市街地の区間は、河川整備基本方針に位置付けられている、河道において分担する流量4,900m³/s(高角地点)に相当する洪水を安全に流下させる。

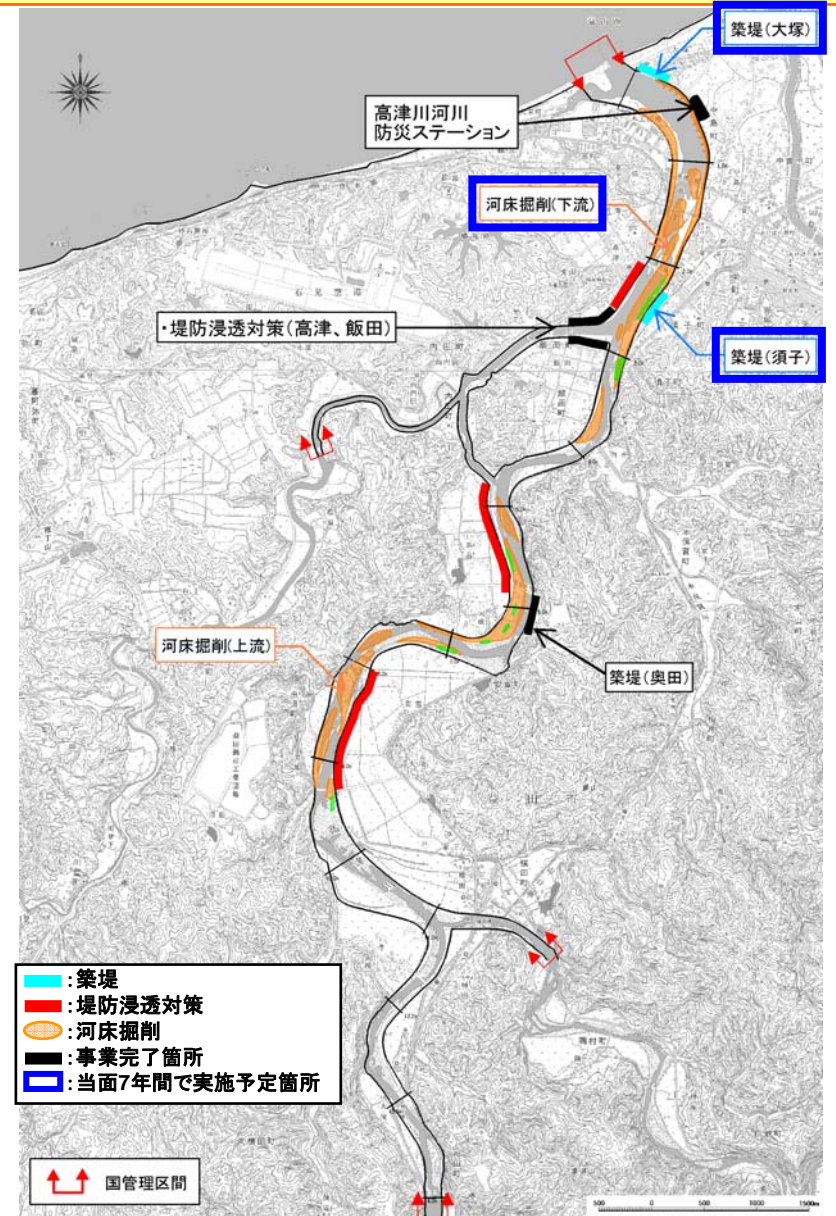
■整備期間
 目標を達成する上での事業量等を勘案し、概ね30年間。

■事業箇所
 整備期間内に目標を達成するために必要な事業箇所を選定。

整備計画目標 流量配分図



事業箇所



これまでに実施した事業の内容

■平成20年度に高津川水系河川整備計画を策定し、これまで奥田箇所において築堤、中の島箇所において河川防災ステーションの整備、高津箇所及び飯田箇所において堤防浸透対策を実施。

■堤防浸透対策（飯田・高津）

事業期間：平成21年度
事業箇所：派川 0.0k~0.4k（左岸）、0.1k~0.4k（右岸）
事業目的：堤防の浸透に対して危険な区間の浸透対策を実施

■河川防災ステーション

事業期間：平成17年度~平成20年度
事業箇所：高津川 0.6k付近（右岸）
事業目的：災害時における水防活動や災害復旧の拠点として整備



ドレーン設置



河川防災ステーション



■奥田（築堤）

事業期間：平成20年度~平成22年度
事業箇所：高津川 5.6k~6.3k（右岸）
事業目的：無堤箇所である奥田地区の築堤を実施
(5.8k地点流下能力 約2,620m³/s → 3,770m³/s)



奥田堤防

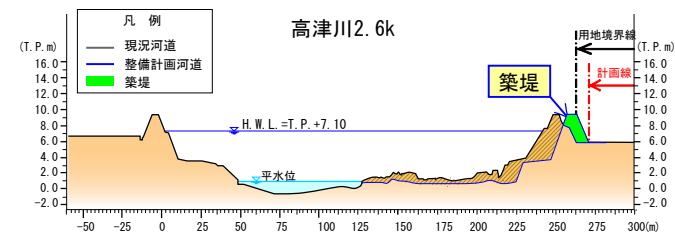
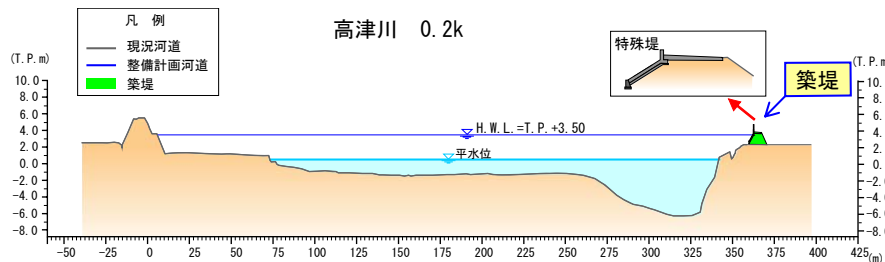
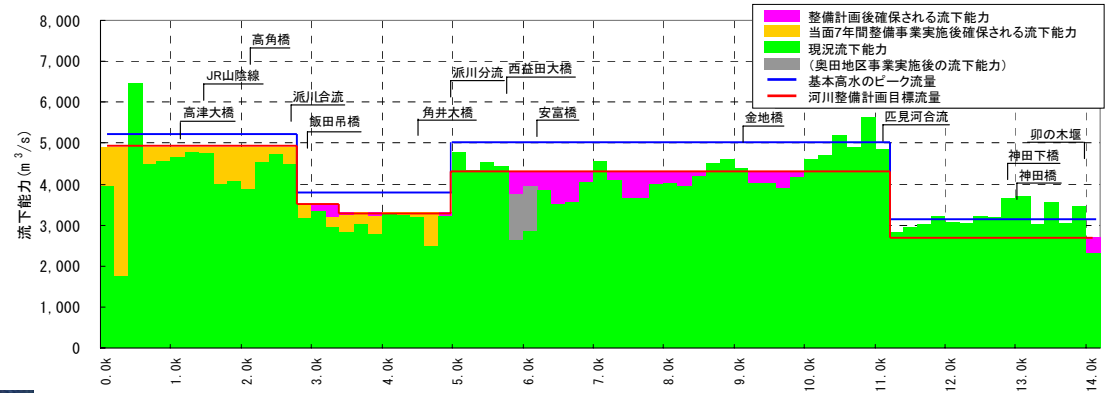
今後実施する事業内容

■高津川の本業の実施内容は、堤防高及び川幅不足箇所の堤防整備、河床掘削、樹木伐開、堤防浸透対策である。

堤防の整備

【堤防の整備を実施する区間】

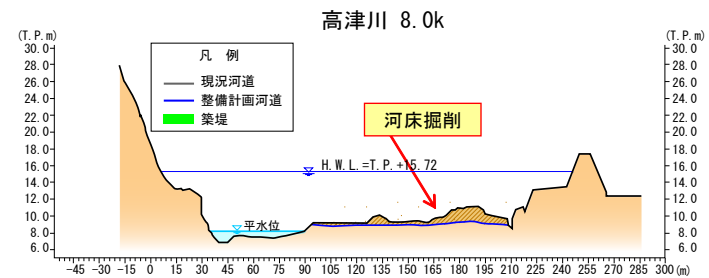
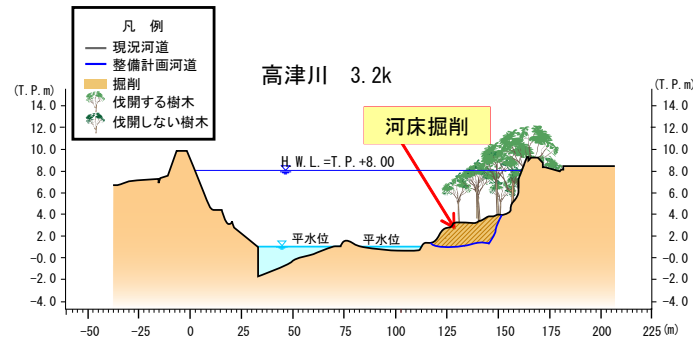
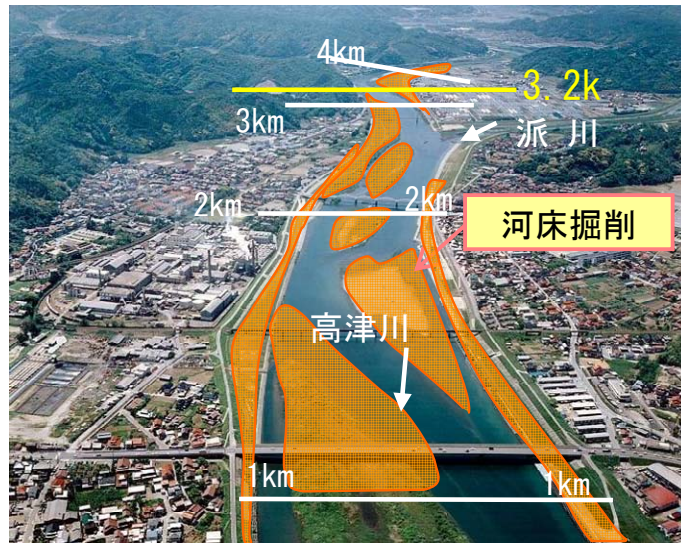
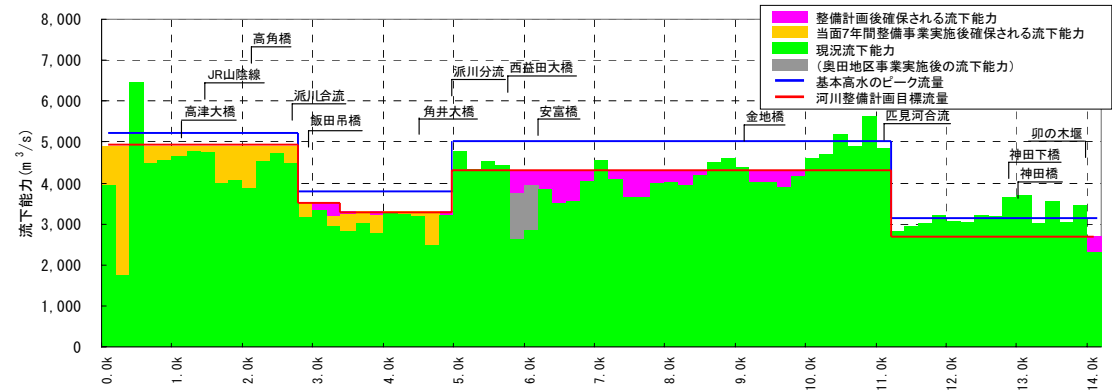
No.	地先名	区間	備考
①	大塚	高津川右岸 0.0k~0.2k	
②	須子	高津川右岸 2.4k~2.8k	



河床掘削（樹木伐開含む）

【河積確保のための河床掘削を実施する区間】

No.	地先名	区間	備考
①	中の島・高津・須子・飯田	高津川 0.2k~4.0k	河床掘削に伴う樹木伐開含む
②	虫追・安富	高津川 4.9k~9.5k	河床掘削に伴う樹木伐開含む



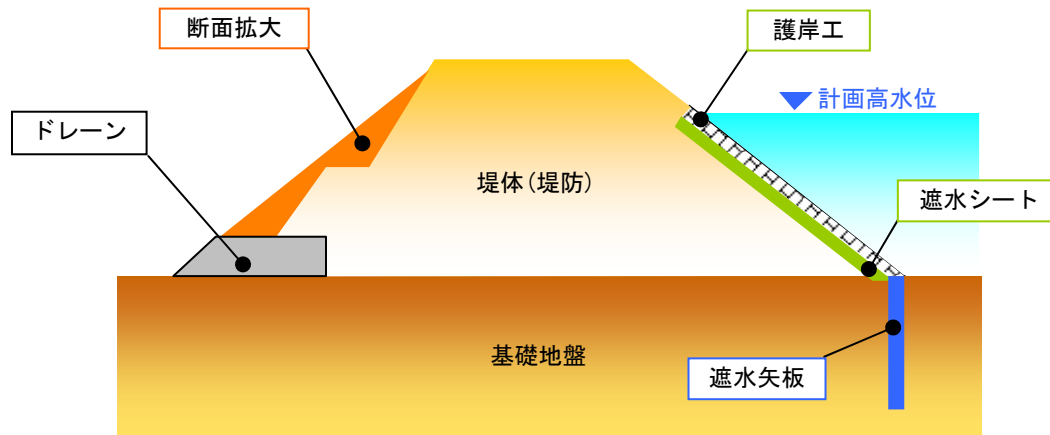
堤防浸透対策

【堤防浸透対策を実施する区間】

No.	地先名	区間	備考
①	高津	高津川左岸 2.5k~2.7k	
②	虫追	高津川左岸 4.9k~6.0k	
③	安富	高津川右岸 8.2k~9.1k	



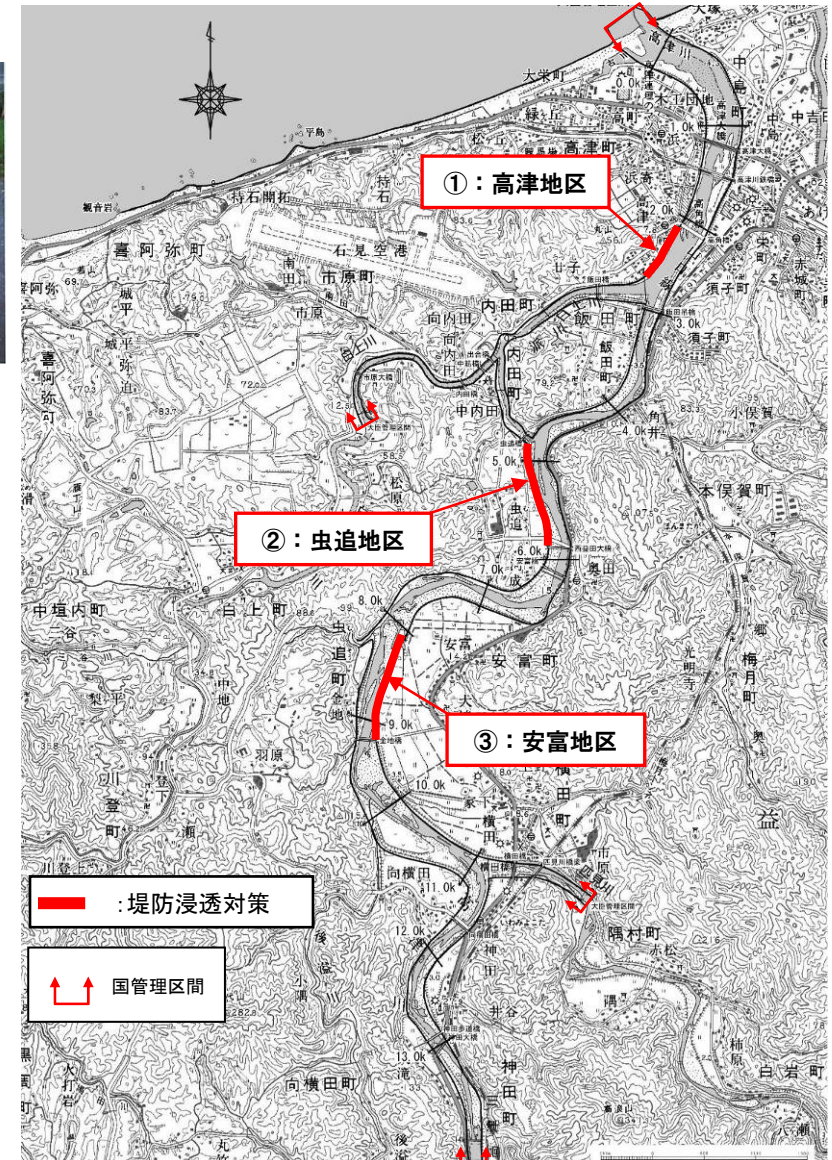
平成9年7月洪水による漏水状況



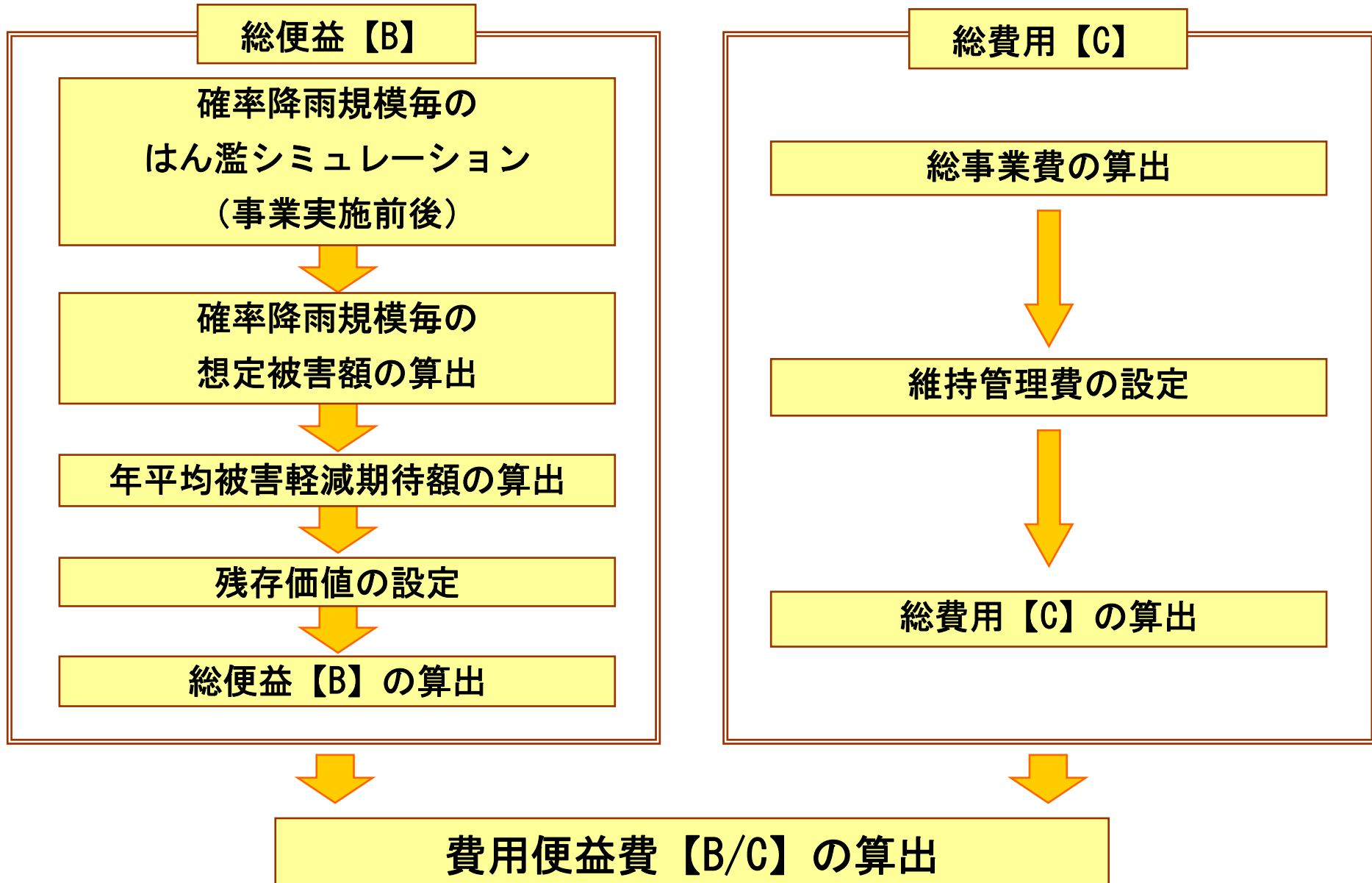
【主な対策工とその効果】

- ドレイン：洪水時に堤防内に浸透した河川水や雨水の排水を促し湿潤面を下げる。
- 断面拡大：堤防斜面を緩勾配化し安定化を図る。
基礎地盤からの浸透圧に対し、上から载荷することにより抵抗する。
浸透水の経路を延長し水圧を低減する。
- 護岸工：洪水時の流水による浸食に抵抗する。
- 遮水シート：河道からの浸透水を遮断または軽減する。
- 遮水矢板：基礎地盤への浸透を遮断または軽減する。

堤防浸透対策工イメージ図



費用便益比 (B/C) 算出の流れ



① 便益の算出方法

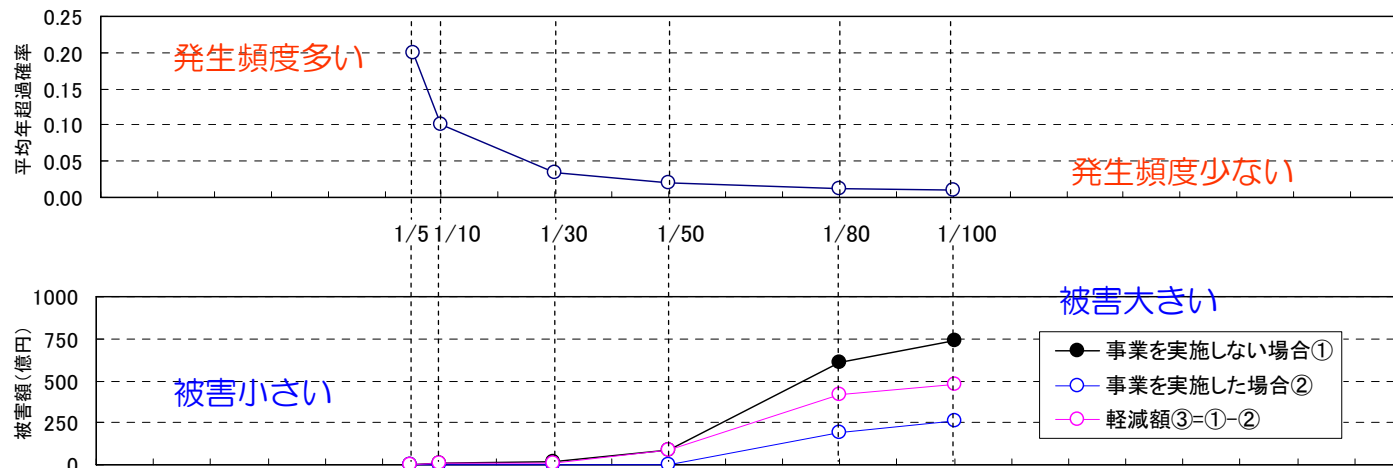
■ 計画規模1/100年確率を最大として6ケース検討（1/5年、1/10年、1/30年、1/50年、1/80年、1/100年）

■ 年平均被害軽減期待額 約4億円

（単位：百万）

確率規模	超過確率	被害額			区間平均被害額④	区間確率⑤	年平均被害額④×⑤	年平均被害額の累計 =年平均被害軽減期待額
		事業を実施しない場合①	事業を実施した場合②	軽減額③=①-②				
1/5	0.2000	0	0	0	234	0.1000	23	23
1/10	0.1000	490	22	468	847	0.0667	56	79
1/30	0.0333	1,337	111	1,226	5,046	0.0133	67	146
1/50	0.0200	9,129	263	8,866	25,317	0.0075	190	336
1/80	0.0125	60,977	19,210	41,767	44,837	0.0025	112	448
1/100	0.0100	73,642	25,735	47,907				

年平均被害
軽減期待額



②費用便益比(B/C)の算出

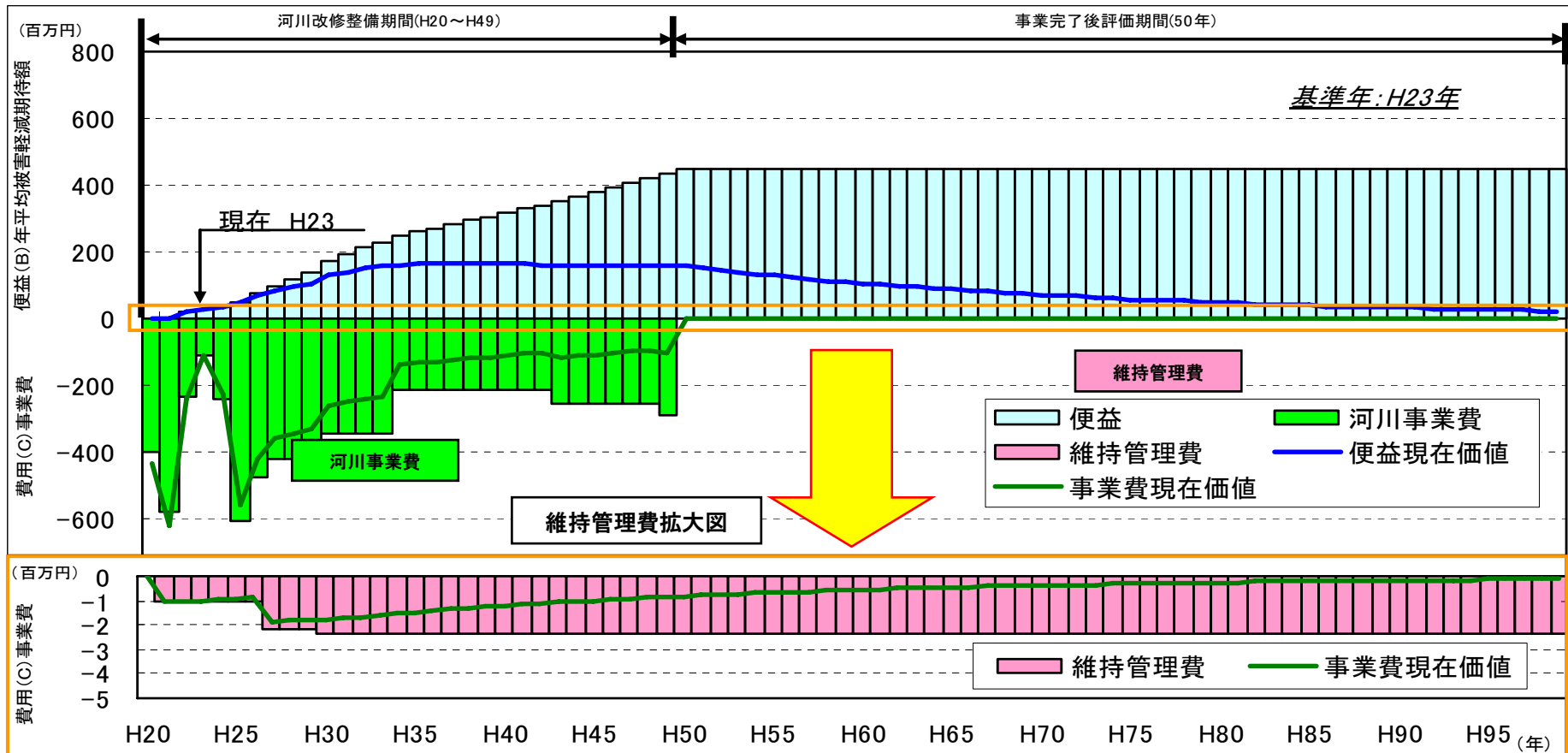
■便益の整理

- ・①で算出した評価期間中に発現する便益を、社会的割引率(4%)で割り引いた上で集計
- ・評価期間後に生じる残存価値を算定

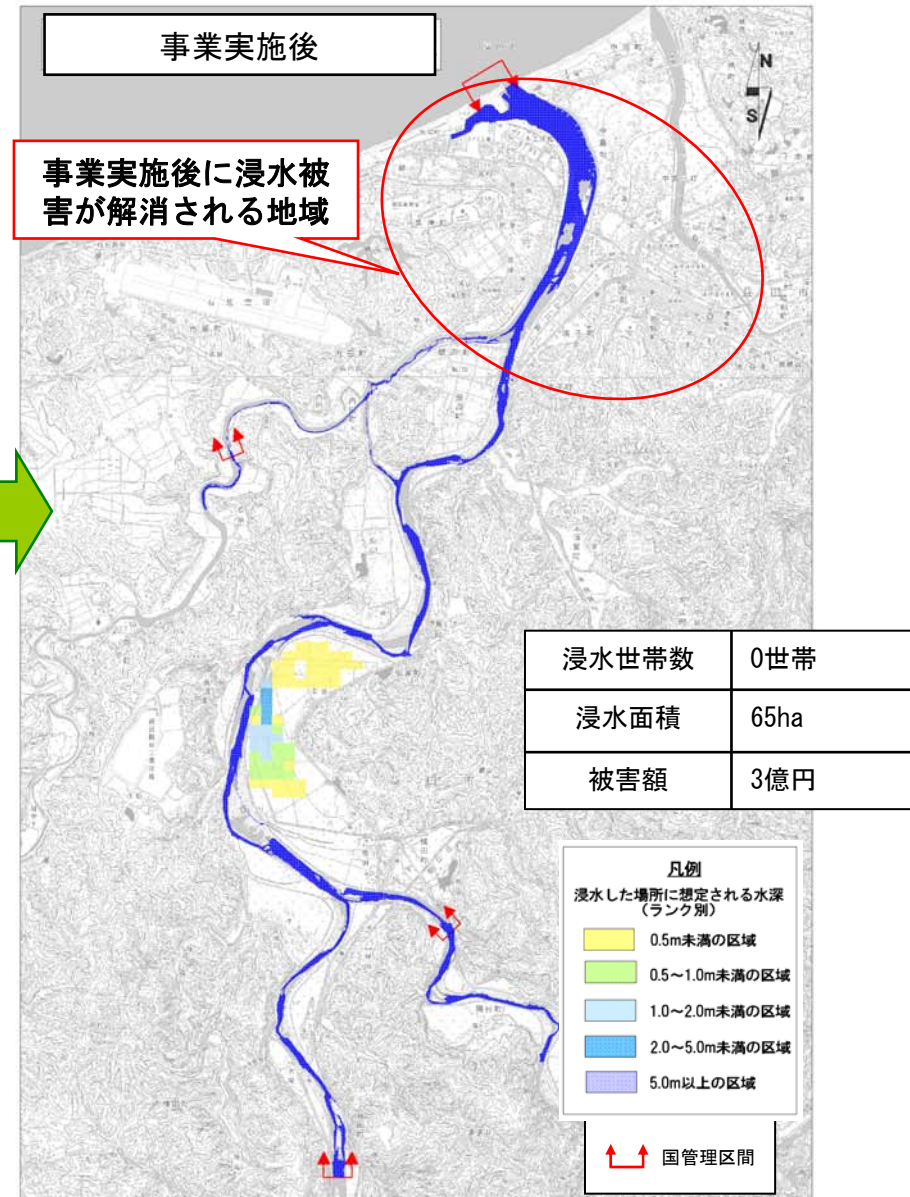
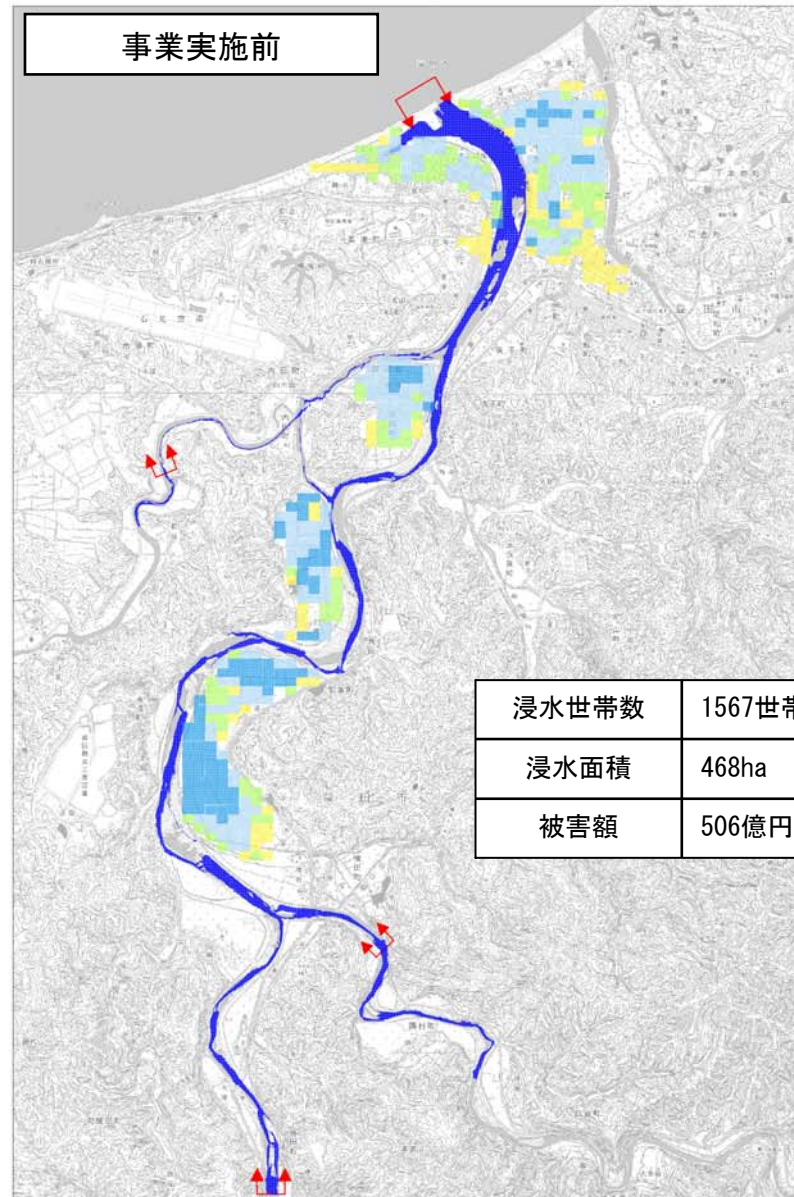
■費用の整理

- ・既投資額についてはデフレータ及び社会的割引率(4%)で割り増しによって現在価値化し、今後見込まれる事業費、維持管理費については社会的割引率(4%)によって割り引いた上で集計

項目	全体事業
便益 (B1)	71 億円
残存価値 (B2)	2 億円
総便益 (B1+B2)	73 億円
建設費 (C1)	65 億円
維持管理費 (C2)	1 億円
総費用 (C=C1+C2)	65 億円
便益比 (B/C)	1.1



(例) 整備計画目標流量を対象にした被害の軽減状況(左右岸ブロック)



①便益の算出方法

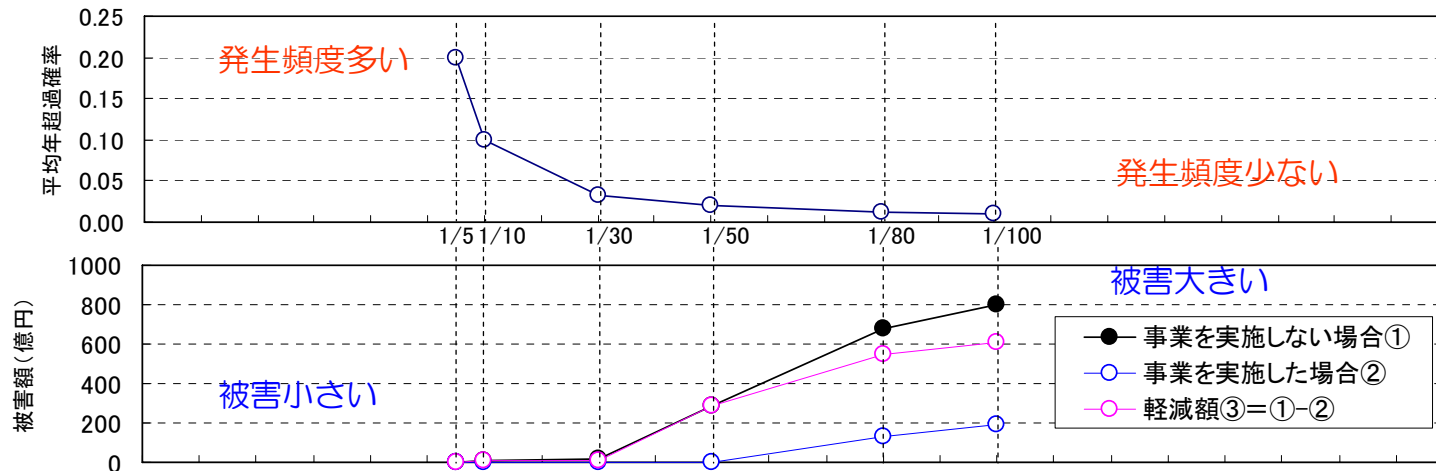
■計画規模1/100年確率を最大として6ケース検討（1/5年、1/10年、1/30年、1/50年、1/80年、1/100年）

■年平均被害軽減期待額 約7億円

（単位：百万）

年平均被害
軽減期待額

確率規模	超過確率	被害額			区間平均被害額④	区間確率⑤	年平均被害額④×⑤	年平均被害額の累計 =年平均被害軽減期待額
		事業を実施しない場合①	事業を実施した場合②	軽減額③=①-②				
1/5	0.2000	0	0	0	240	0.1000	24	24
1/10	0.1000	480	0	480	852	0.0667	57	81
1/30	0.0333	1,321	98	1,223	14,831	0.0133	198	279
1/50	0.0200	28,655	216	28,439	41,654	0.0075	312	591
1/80	0.0125	67,764	12,895	54,869	57,743	0.0025	144	735
1/100	0.0100	80,114	19,498	60,616				



②費用便益比(B/C)の算出

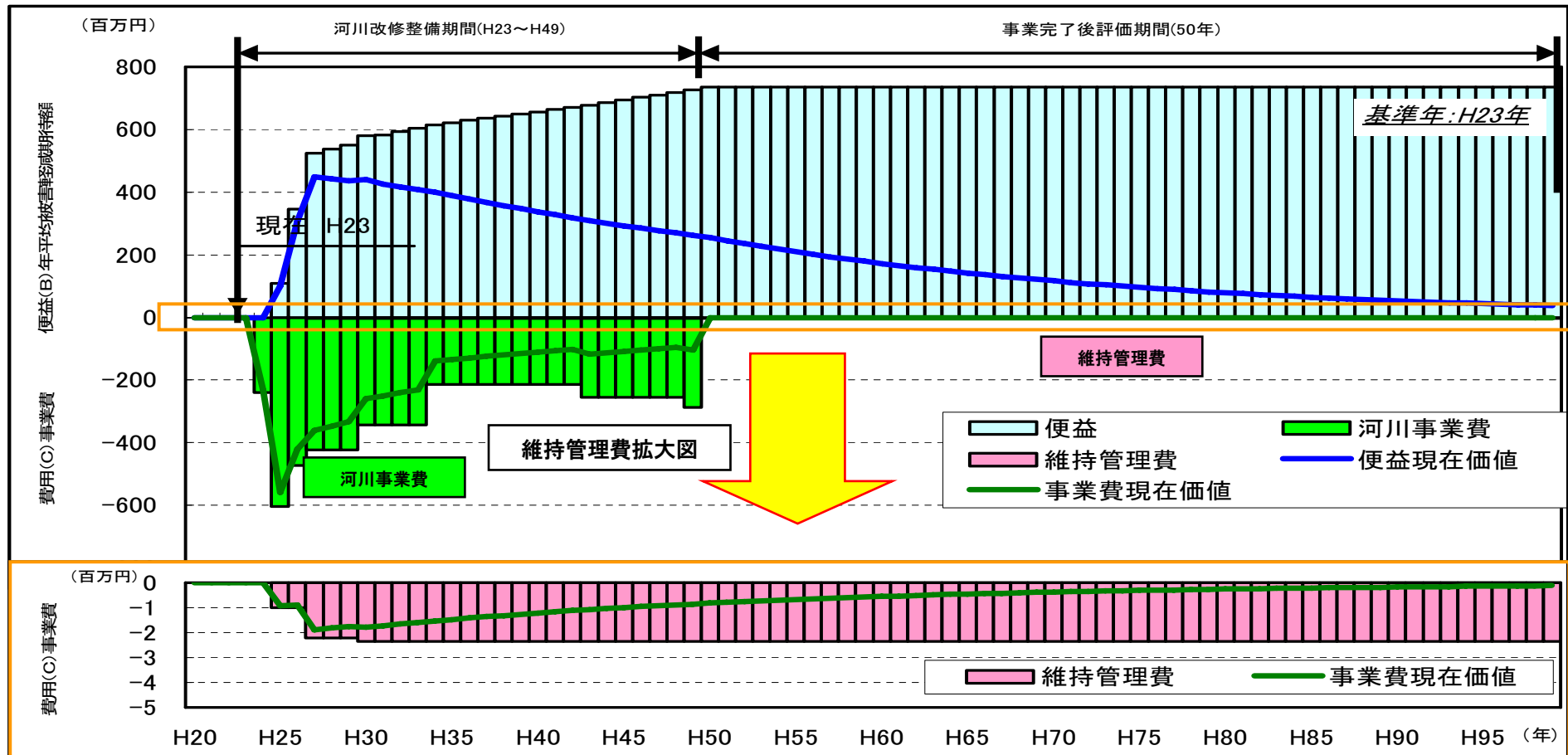
■便益の整理

- ・①で算出した評価期間中に発現する便益を、社会的割引率(4%)で割り引いた上で集計
- ・評価期間後に生じる残存価値を算定

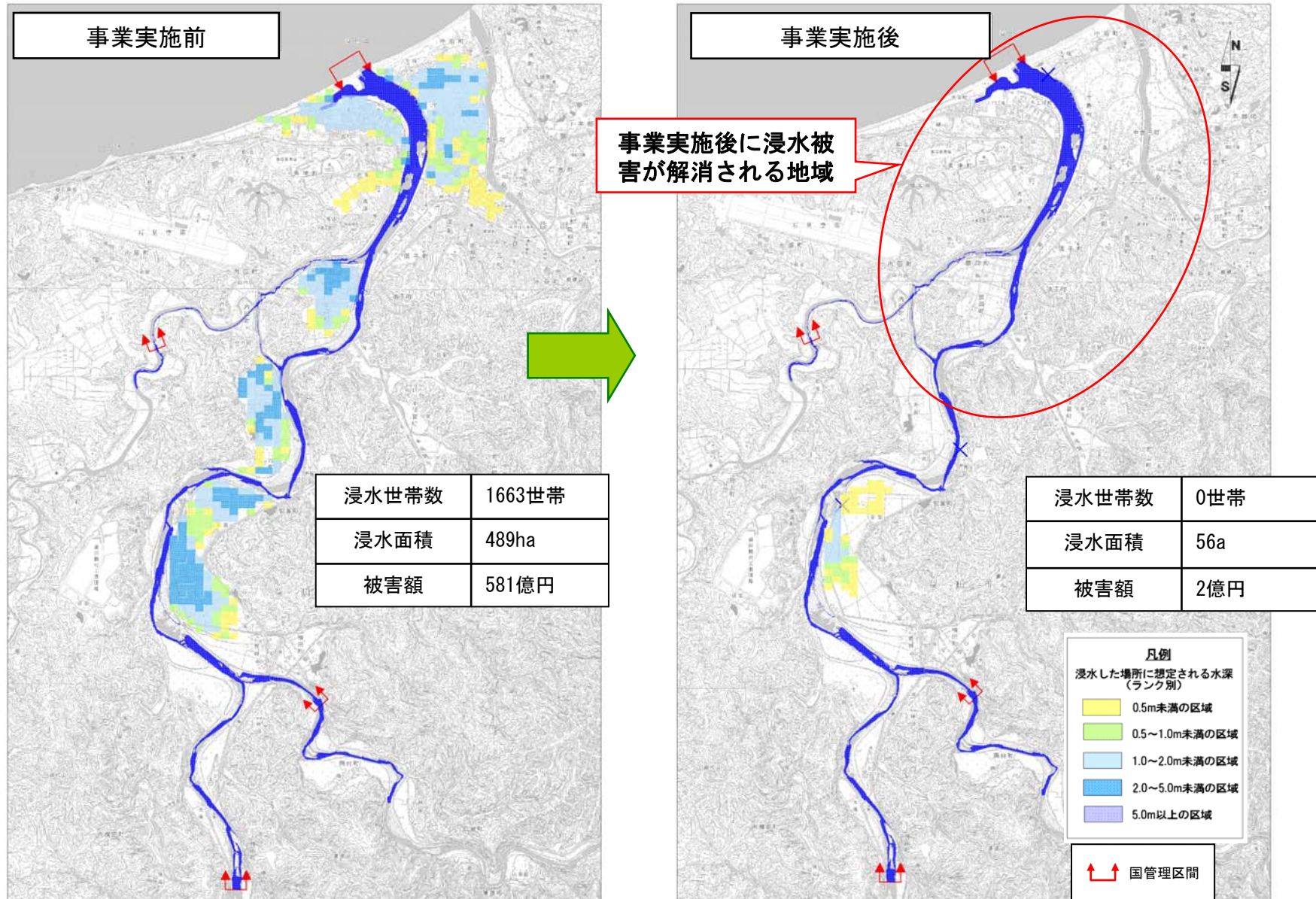
■費用の整理

- ・既投資額についてはデフレータ及び社会的割引率(4%)で割り増しによって現在価値化し、今後見込まれる事業費、維持管理費については社会的割引率(4%)によって割り引いた上で集計

項目	残事業
便益 (B1)	143 億円
残存価値 (B2)	2 億円
総便益 (B1+B2)	145 億円
建設費 (C1)	51 億円
維持管理費 (C2)	1 億円
総費用 (C=C1+C2)	51 億円
便益比 (B/C)	2.8



(例)整備計画目標流量を対象にした被害の軽減状況(左右岸ブロック)



①便益の算出方法

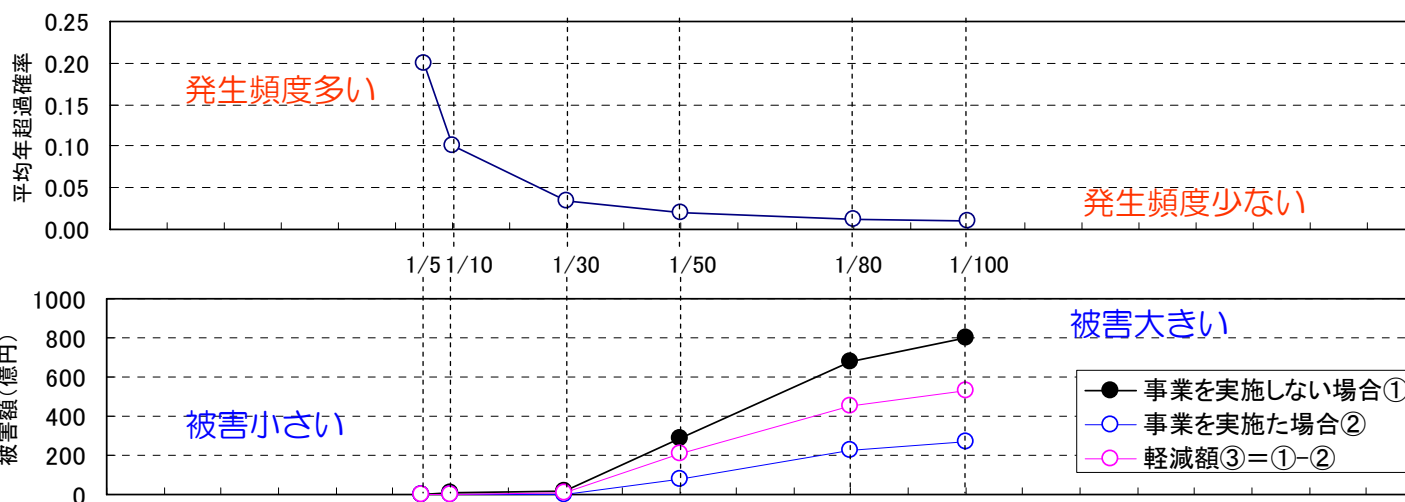
■計画規模1/100年確率を最大として6ケース検討（1/5年、1/10年、1/30年、1/50年、1/80年、1/100年）

■年平均被害軽減期待額 約6億円

(単位：百万)

確率規模	超過確率	被害額			区間平均被害額④	区間確率⑤	年平均被害額④×⑤	年平均被害額の累計 =年平均被害軽減期待額
		事業を実施しない場合①	事業を実施した場合②	軽減額③=①-②				
1/5	0.2000	0	0	0	211	0.1000	21	21
1/10	0.1000	480	59	421	720	0.0667	48	69
1/30	0.0333	1,321	303	1,018	10,867	0.0133	145	214
1/50	0.0200	28,655	7,940	20,715	32,776	0.0075	246	460
1/80	0.0125	67,764	22,927	44,837	49,091	0.0025	123	583
1/100	0.0100	80,114	26,770	53,344				

年平均被害
軽減期待額



②費用便益比(B/C)の算出

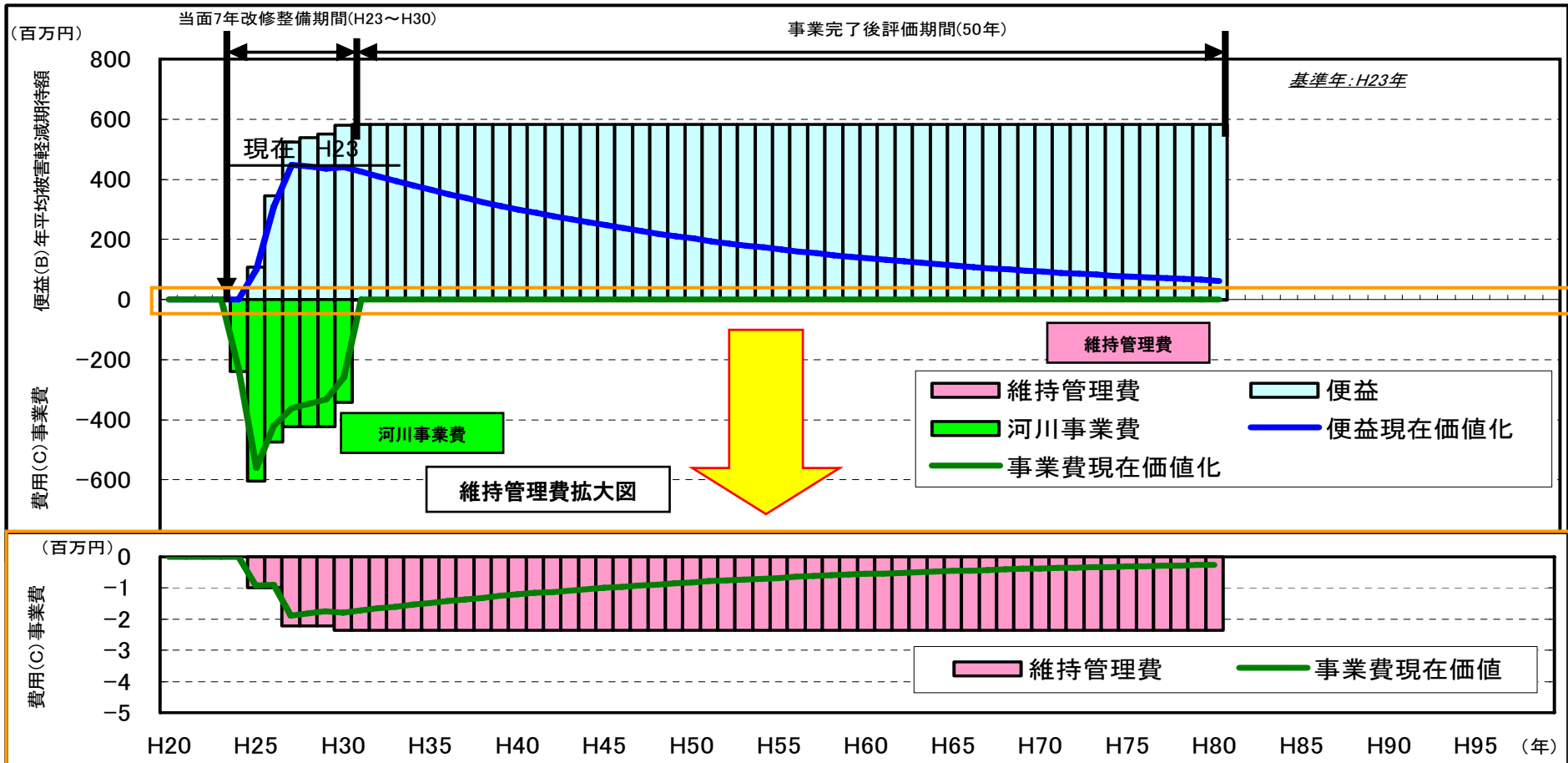
■便益の整理

- ・①で算出した評価期間中に発現する便益を、社会的割引率(4%)で割り引いた上で集計
- ・評価期間後に生じる残存価値を算定

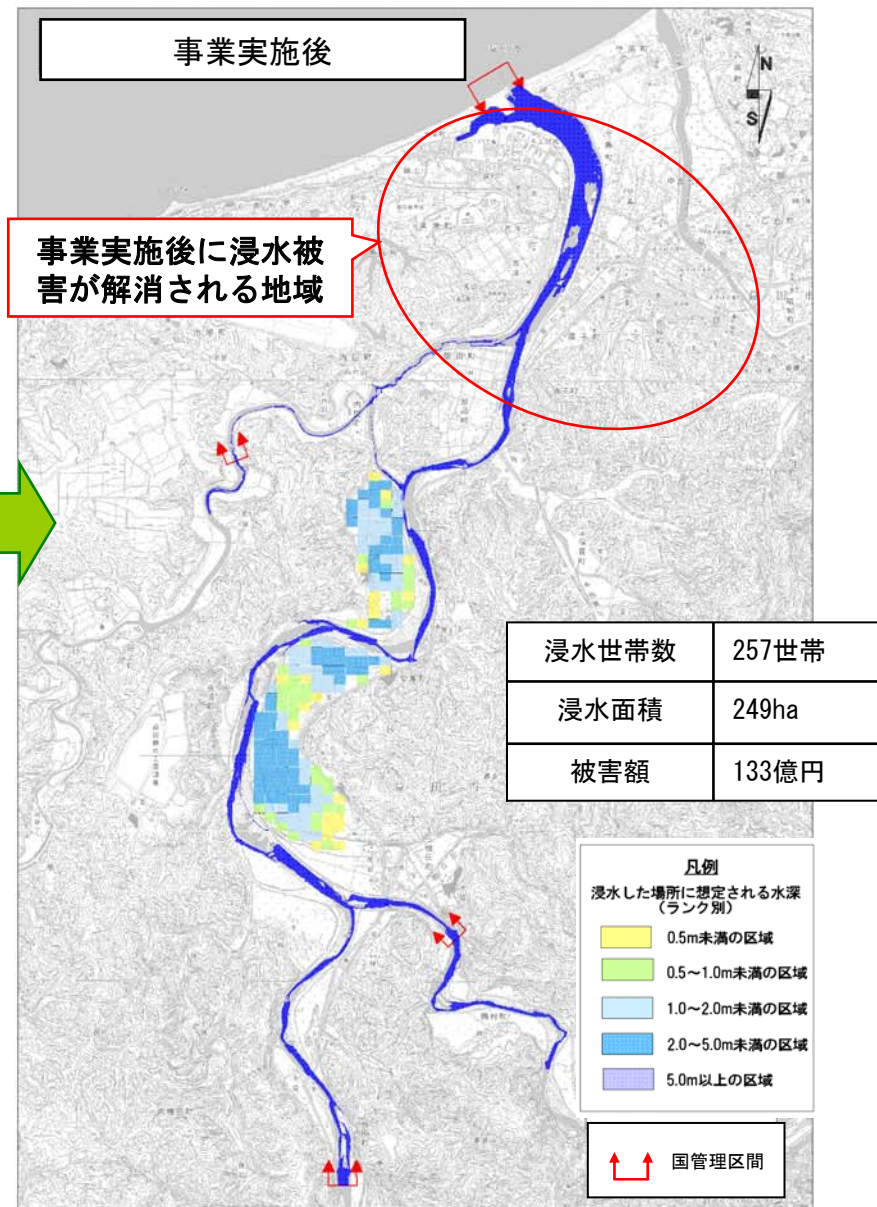
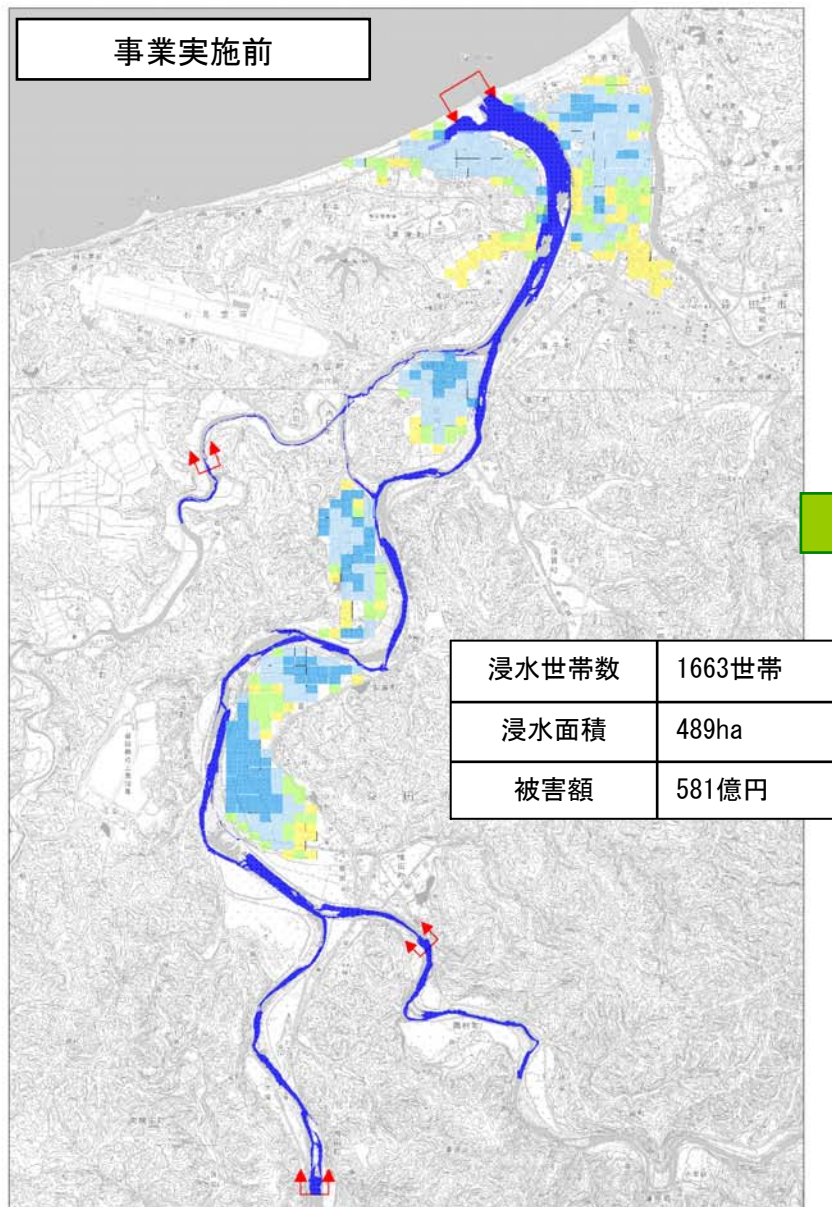
■費用の整理

- ・既投資額についてはデフレータ及び社会的割引率(4%)で割り増しによって現在価値化し、今後見込まれる事業費、維持管理費については社会的割引率(4%)によって割り引いた上で集計

項目	当面7年間事業
便益 (B1)	117 億円
残存価値 (B2)	1 億円
総便益 (B1+B2)	118 億円
建設費 (C1)	25 億円
維持管理費 (C2)	1 億円
総費用 (C=C1+C2)	26 億円
便益比 (B/C)	4.6



(例)整備計画目標流量を対象にした被害の軽減状況(左右岸ブロック)



1. 再評価の視点

①事業の必要性等の視点

1)事業を巡る社会経済情勢等の変化

- 流域内の人口・世帯数は減少しているが、周辺には萩・石見空港、石見臨空ファクトリーパーク、益田地区国営農地開発事業を基盤とした工業・農業等の振興が期待されている。
- 近年でも洪水被害を受けており、治水事業の要望は強い。

2)事業の投資効果

- 費用便益費（H23時点）全体事業(B/C) = 1.1 残事業(B/C) = 2.8 当面7年間(B/C) = 4.6

3)事業の進捗状況

- 平成20年7月3日高津川水系河川整備計画（国管理区間）策定。
- 整備計画対象期間概ね30年を目標に事業を遂行。
- 奥田（高津川右岸5.6k~6.3k）の築堤が完了。

②事業の進捗の見込み

- 住民意見、関係自治体の長並びに関係機関の意見を伺い策定していることから、今後の円滑な事業進捗が見込まれる。
- 大塚箇所については着手しており、順調に進捗している。

③コスト縮減や代替案立案等の可能性

- 平成24年度から河道掘削に着手する予定であり、掘削残土を他の工事において再利用することで残土処分費用のコスト縮減を図る。
- 住民意見、関係自治体、関係機関及び学識経験者等に意見を伺い策定した計画であることか、現時点では妥当な計画となっている。

2. 県への意見照会結果

- 継続するとの対応方針(原案)については異存ありません。

【今後の対応方針（原案）】

- 上述より、高津川水系河川整備計画対象区間において、治水安全度向上の必要性、費用対効果、地元の協力体制等の観点から**事業継続が妥当**。
- 今後の詳細な設計段階において、さらなるコスト縮減を図るとともに、環境にも配慮して事業を進め、より一層の事業効果の発現に努める。

■ 前回評価時との比較

	前回評価	今回評価	備考
事業諸元	河道掘削、築堤、護岸、樋門、堤防質的強化対策、河川防災ステーション等	同左	
事業期間	平成20年度～平成49年度末(予定)(30ヶ年)	同左	
総事業費	89.6億円	90.4億円	<ul style="list-style-type: none"> ・前回費用対効果分析で費用未計上事業の費用を新たに追加(堤防質的強化対策、河川防災ステーション等) ・掘削残土の有効利用によるコスト縮減
総便益(B)	61.7億円	72.7億円	<ul style="list-style-type: none"> ・資産データの更新 国勢調査(H12→H17) 事業所統計データ(H13→H18) ・デフレータの更新(H18.3→H23.2) ・地盤高変更(1/2,500地形図の単点データ→LPデータ(ランダムデータ))
総費用(C)	49.7億円	65.2億円	<ul style="list-style-type: none"> ・前回費用対効果分析で費用未計上事業の費用を新たに追加(堤防質的強化対策、河川防災ステーション等) ・掘削残土の有効利用によるコスト縮減 ・維持管理費用の見直し
費用対効果(B/C)	1.2	1.1	

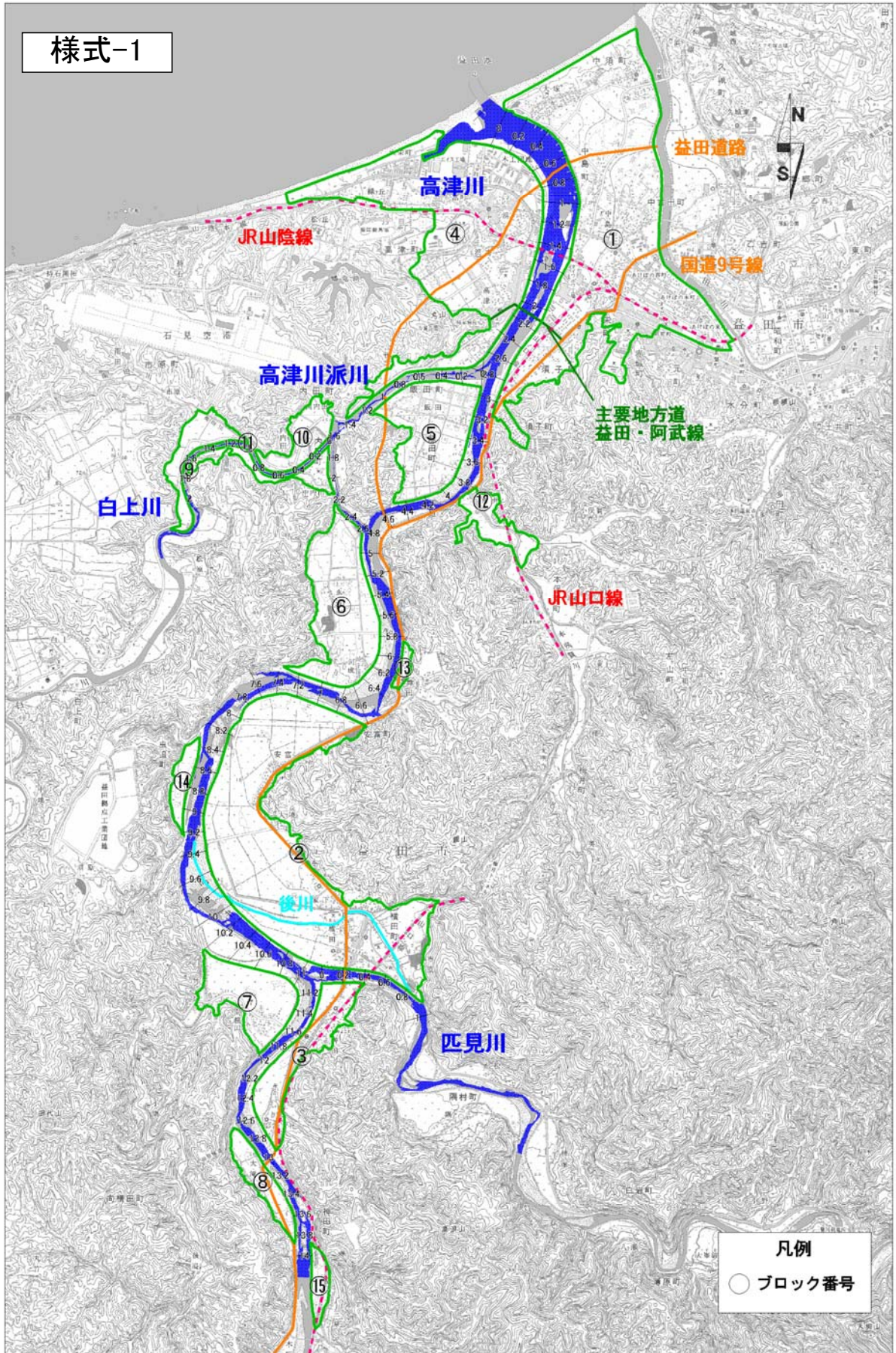
残事業費、残工期、資産を個別に±10%変動させて、費用対便益費(B/C)を算定し、感度分析を行った。

	全体事業(高津川直轄河川改修事業の全体事業)						
	基本	残事業費		残工期		資産	
		+10%	-10%	+10%	-10%	+10%	-10%
B/C	1.1	1.04	1.21	1.11	1.11	1.22	1.01

	残事業(高津川直轄河川改修事業の残事業)						
	基本	残事業費		残工期		資産	
		+10%	-10%	+10%	-10%	+10%	-10%
B/C	2.8	2.59	3.15	2.90	2.73	3.12	2.57

高津川直轄河川改修事業
〔費用便益比（B／C）算定等資料〕

様式-1



1000 0 1000 2000 3000m

様式-2 資産データ 水系名： 高津川 河川名： 高津川 国勢調査年： 平成17年 事業所統計調査年： 平成18年 金額は百万円

氾濫 ブロック	ブロック 面積	一般資産等基礎数量							一般資産額							農作物資産			一般資産額 等合計	備考
		人口	世帯数	従業者数 (産業分 類別 に算出)	農漁家数	延床面積	水田面積	畑面積	家屋	家庭用品	事業所資産		農漁家資産		小計	水稻	畑	小計		
											償却	在庫	償却	在庫						
①	324	5,551	2,254	4,317	122	419,333	30	59	71,077	33,693	15,433	6,161	292	68	126,724	33	339	372	127,096	
②	262	1,742	567	668	50	114,357	128	37	19,384	8,476	1,824	1,141	120	28	30,973	142	211	353	31,326	
③	43	430	152	232	13	25,809	9	4	4,375	2,272	721	449	31	7	7,855	10	20	30	7,885	
④	228	4,251	1,567	2,408	67	260,003	18	23	44,071	23,424	6,462	4,179	160	38	78,334	20	134	154	78,488	
⑤	70	542	177	63	32	39,203	6	44	6,645	2,646	165	101	77	18	9,652	6	253	259	9,911	
⑥	82	257	85	119	33	27,254	11	39	4,620	1,271	421	284	79	19	6,694	13	224	237	6,931	
⑦	47	275	88	24	22	21,644	22	9	3,669	1,315	39	40	53	12	5,128	25	50	75	5,203	
⑧	20	95	32	22	3	4,876	7	4	826	478	91	84	7	2	1,488	8	22	30	1,518	
⑨	15	118	35	9	10	8,073	4	3	1,368	523	12	20	24	6	1,953	5	15	20	1,973	
⑩	22	68	22	11	3	5,691	8	6	965	329	48	6	7	2	1,357	8	35	43	1,400	
⑪	24	54	15	2	4	2,255	14	0	382	224	6	7	10	2	631	16	1	17	648	
⑫	21	116	34	15	11	6,669	9	1	1,130	508	20	37	26	6	1,727	10	8	18	1,745	
⑬	4	78	26	99	6	1,340	0	0	227	389	298	229	14	3	1,160	0	2	2	1,162	
⑭	12	0	0	0	0	687	1	4	116	0	0	0	0	0	116	1	23	24	140	
⑮	10	0	0	0	0	1,191	4	0	202	0	0	0	0	0	202	4	0	4	206	
合計	1,184	13,577	5,054	7,989	376	938,385	271	233	159,057	75,548	25,540	12,738	900	211	273,994	301	1,337	1,638	275,632	

①全体事業 (H20～H49)

様式-4年平均被害軽減期待額 水系名:高津川 河川名:高津川, 派川, 白上川, 匹見川 対象河道:平成17年測量河道～整備計画河道 金額は百万円

確率規模	超過確率	被害額			区間平均被害額④	区間確率⑤	年平均被害額④×⑤	年平均被害額の累計 =年平均被害軽減期待額	備考
		事業を実施しない場合①	事業を実施した場合②	軽減額③=①-②					
1/5	0.2000	0	0	0	234	0.1000	23	23	
1/10	0.1000	490	22	468	847	0.0667	56	79	
1/30	0.0333	1,337	111	1,226	5,046	0.0133	67	146	
1/50	0.0200	9,129	263	8,866	25,317	0.0075	190	336	
1/80	0.0125	60,977	19,210	41,767	44,837	0.0025	112	448	
1/100	0.0100	73,642	25,735	47,907					

②残事業 (H24～H49)

様式-4年平均被害軽減期待額 水系名:高津川 河川名:高津川, 派川, 白上川, 匹見川 対象河道:平成22年測量河道～整備計画河道 金額は百万円

確率規模	超過確率	被害額			区間平均被害額④	区間確率⑤	年平均被害額④×⑤	年平均被害額の累計 =年平均被害軽減期待額	備考
		事業を実施しない場合①	事業を実施した場合②	軽減額③=①-②					
1/5	0.2000	0	0	0	240	0.1000	24	24	
1/10	0.1000	480	0	480	852	0.0667	57	81	
1/30	0.0333	1,321	98	1,223	14,831	0.0133	198	279	
1/50	0.0200	28,655	216	28,439	41,654	0.0075	312	591	
1/80	0.0125	67,764	12,895	54,869	57,743	0.0025	144	735	
1/100	0.0100	80,114	19,498	60,616					

③当面事業 (H24～H30)

様式-4年平均被害軽減期待額 水系名:高津川 河川名:高津川, 派川, 白上川, 匹見川 対象河道:平成22年測量河道～平成30年度未河道 金額は百万円

確率規模	超過確率	被害額			区間平均被害額④	区間確率⑤	年平均被害額④×⑤	年平均被害額の累計 =年平均被害軽減期待額	備考
		事業を実施しない場合①	事業を実施した場合②	軽減額③=①-②					
1/5	0.2000	0	0	0	211	0.1000	21	21	
1/10	0.1000	480	59	421	720	0.0667	48	69	
1/30	0.0333	1,321	303	1,018	10,867	0.0133	145	214	
1/50	0.0200	28,655	7,940	20,715	32,776	0.0075	246	460	
1/80	0.0125	67,764	22,927	44,837	49,091	0.0025	123	583	
1/100	0.0100	80,114	26,770	53,344					

様式-5 費用対便益

水系名：高津川

河川名：高津川，派川，白上川，匹見川 単位（百万円）

区分	年度	t	便益B				費用C						費用 便益費 B/C	純現在 価値 B-C
			便益①		残存 価値 ②	計 ①+②	建設費③		維持管理費④		計③+④			
			便益	現在 価値			費用	現在 価値	費用	現在 価値	費用	現在 価値		
既 往 投 資 額	H20	-3	0	0			401	436		0.0	401	436		
	H21	-2	0	0			576	623	1.0	1.1	577	624		
	H22	-1	17	18			233	242	1.0	1.0	234	243		
	H23	0	30	30			111	111	1.0	1.0	112	112		
現 時 点 か ら の 整 備 期 間 (H 2 3 ~ H 4 9)	H24	1	36	35			240	231	1.0	1.0	241	232		
	H25	2	49	45			605	559	1.0	0.9	606	560		
	H26	3	77	68			473	421	1.0	0.9	474	422		
	H27	4	98	84			422	361	2.2	1.9	424	363		
	H28	5	116	96			422	347	2.2	1.8	424	349		
	H29	6	135	107			422	334	2.2	1.7	424	335		
	H30	7	175	133			343	261	2.4	1.8	345	262		
	H31	8	193	141			343	251	2.4	1.7	345	252		
	H32	9	211	148			343	241	2.4	1.7	345	243		
	H33	10	230	155			343	232	2.4	1.6	345	233		
	H34	11	248	161			215	140	2.4	1.5	218	141		
	H35	12	260	162			215	134	2.4	1.5	218	136		
	H36	13	271	163			215	129	2.4	1.4	218	131		
	H37	14	283	163			215	124	2.4	1.4	218	126		
	H38	15	294	163			215	120	2.4	1.3	218	121		
	H39	16	306	163			215	115	2.4	1.3	218	116		
	H40	17	317	163			215	111	2.4	1.2	218	112		
	H41	18	329	162			215	106	2.4	1.2	218	107		
	H42	19	340	162			215	102	2.4	1.1	218	103		
	H43	20	352	161			256	117	2.4	1.1	258	118		
	H44	21	366	161			256	112	2.4	1.0	258	113		
	H45	22	379	160			256	108	2.4	1.0	258	109		
	H46	23	393	160			256	104	2.4	1.0	258	105		
	H47	24	407	159			256	100	2.4	0.9	258	101		
	H48	25	421	158			256	96	2.4	0.9	258	97		
	H49	26	434	157			287	103	2.4	0.9	289	104		
施 設 完 成 後 の 評 価 期 間 (50 年)	H50	27	448	155					2.4	0.8	2.4	0.8		
	H51	28	448	149					2.4	0.8	2.4	0.8		
	H52	29	448	144					2.4	0.8	2.4	0.8		
	H53	30	448	138					2.4	0.7	2.4	0.7		
	H54	31	448	133					2.4	0.7	2.4	0.7		
	H55	32	448	128					2.4	0.7	2.4	0.7		
	H56	33	448	123					2.4	0.6	2.4	0.6		
	H57	34	448	118					2.4	0.6	2.4	0.6		
	H58	35	448	114					2.4	0.6	2.4	0.6		
	H59	36	448	109					2.4	0.6	2.4	0.6		
	H60	37	448	105					2.4	0.6	2.4	0.6		
	H61	38	448	101					2.4	0.5	2.4	0.5		
	H62	39	448	97					2.4	0.5	2.4	0.5		
	H63	40	448	93					2.4	0.5	2.4	0.5		
	H64	41	448	90					2.4	0.5	2.4	0.5		
	H65	42	448	86					2.4	0.5	2.4	0.5		
	H66	43	448	83					2.4	0.4	2.4	0.4		
	H67	44	448	80					2.4	0.4	2.4	0.4		
	H68	45	448	77					2.4	0.4	2.4	0.4		
	H69	46	448	74					2.4	0.4	2.4	0.4		
	H70	47	448	71					2.4	0.4	2.4	0.4		
	H71	48	448	68					2.4	0.4	2.4	0.4		
	H72	49	448	66					2.4	0.3	2.4	0.3		
	H73	50	448	63					2.4	0.3	2.4	0.3		
	H74	51	448	61					2.4	0.3	2.4	0.3		
	H75	52	448	58					2.4	0.3	2.4	0.3		
	H76	53	448	56					2.4	0.3	2.4	0.3		
	H77	54	448	54					2.4	0.3	2.4	0.3		
	H78	55	448	52					2.4	0.3	2.4	0.3		
	H79	56	448	50					2.4	0.3	2.4	0.3		
	H80	57	448	48					2.4	0.3	2.4	0.3		
	H81	58	448	46					2.4	0.2	2.4	0.2		
H82	59	448	44					2.4	0.2	2.4	0.2			
H83	60	448	43					2.4	0.2	2.4	0.2			
H84	61	448	41					2.4	0.2	2.4	0.2			
H85	62	448	39					2.4	0.2	2.4	0.2			
H86	63	448	38					2.4	0.2	2.4	0.2			
H87	64	448	36					2.4	0.2	2.4	0.2			
H88	65	448	35					2.4	0.2	2.4	0.2			
H89	66	448	34					2.4	0.2	2.4	0.2			
H90	67	448	32					2.4	0.2	2.4	0.2			
H91	68	448	31					2.4	0.2	2.4	0.2			
H92	69	448	30					2.4	0.2	2.4	0.2			
H93	70	448	29					2.4	0.2	2.4	0.2			
H94	71	448	28					2.4	0.1	2.4	0.1			
H95	72	448	27					2.4	0.1	2.4	0.1			
H96	73	448	26					2.4	0.1	2.4	0.1			
H97	74	448	25					2.4	0.1	2.4	0.1			
H98	75	448	24					2.4	0.1	2.4	0.1			
H99	76	448	23					2.4	0.1	2.4	0.1			
			29,168	7,108	161	7,269	9,035	6,469	178	55	9,213	6,524	1.11	745

様式-5 費用対便益

水系名：高津川

河川名：高津川，派川，白上川，匹見川 単位（百万円）

区分	年度	t	便益B				費用C						費用 便益費 B/C	純現在 価値 B-C
			便益①		残存 価値 ②	計 ①+②	建設費③		維持管理費④		計③+④			
			便益	現在 価値			費用	現在 価値	費用	現在 価値	費用	現在 価値		
既往 投資 額	H20	-3		0			0		0		0	0		
	H21	-2		0			0		0		0	0		
	H22	-1		0			0		0		0	0		
	H23	0		0			0		0		0	0		
現時点からの 整備期間 (H23～ H49)	H24	1	0	0		240	231		0.0	240	231			
	H25	2	108	100		605	559	1.0	0.9	606	560			
	H26	3	346	308		473	421	1.0	0.9	474	422			
	H27	4	524	448		422	361	2.2	1.9	424	363			
	H28	5	537	442		422	347	2.2	1.8	424	349			
	H29	6	551	435		422	334	2.2	1.7	424	335			
	H30	7	580	441		343	261	2.4	1.8	345	262			
	H31	8	582	425		343	251	2.4	1.7	345	252			
	H32	9	593	417		343	241	2.4	1.7	345	243			
	H33	10	604	408		343	232	2.4	1.6	345	233			
	H34	11	615	400		215	140	2.4	1.5	218	141			
	H35	12	622	389		215	134	2.4	1.5	218	136			
	H36	13	629	378		215	129	2.4	1.4	218	131			
	H37	14	636	367		215	124	2.4	1.4	218	126			
	H38	15	643	357		215	120	2.4	1.3	218	121			
	H39	16	650	347		215	115	2.4	1.3	218	116			
	H40	17	657	337		215	111	2.4	1.2	218	112			
	H41	18	664	328		215	106	2.4	1.2	218	107			
	H42	19	671	318		215	102	2.4	1.1	218	103			
	H43	20	677	309		256	117	2.4	1.1	258	118			
	H44	21	686	301		256	112	2.4	1.0	258	113			
	H45	22	694	293		256	108	2.4	1.0	258	109			
	H46	23	702	285		256	104	2.4	1.0	258	105			
	H47	24	710	277		256	100	2.4	0.9	258	101			
	H48	25	719	270		256	96	2.4	0.9	258	97			
	H49	26	727	262		287	103	2.4	0.9	289	104			
施設完成後の 評価期間 (50年)	H50	27	735	255				2.4	0.8	2.4	0.8			
	H51	28	735	245				2.4	0.8	2.4	0.8			
	H52	29	735	236				2.4	0.8	2.4	0.8			
	H53	30	735	227				2.4	0.7	2.4	0.7			
	H54	31	735	218				2.4	0.7	2.4	0.7			
	H55	32	735	210				2.4	0.7	2.4	0.7			
	H56	33	735	201				2.4	0.6	2.4	0.6			
	H57	34	735	194				2.4	0.6	2.4	0.6			
	H58	35	735	186				2.4	0.6	2.4	0.6			
	H59	36	735	179				2.4	0.6	2.4	0.6			
	H60	37	735	172				2.4	0.6	2.4	0.6			
	H61	38	735	166				2.4	0.5	2.4	0.5			
	H62	39	735	159				2.4	0.5	2.4	0.5			
	H63	40	735	153				2.4	0.5	2.4	0.5			
	H64	41	735	147				2.4	0.5	2.4	0.5			
	H65	42	735	142				2.4	0.5	2.4	0.5			
	H66	43	735	136				2.4	0.4	2.4	0.4			
	H67	44	735	131				2.4	0.4	2.4	0.4			
	H68	45	735	126				2.4	0.4	2.4	0.4			
	H69	46	735	121				2.4	0.4	2.4	0.4			
	H70	47	735	116				2.4	0.4	2.4	0.4			
	H71	48	735	112				2.4	0.4	2.4	0.4			
	H72	49	735	108				2.4	0.3	2.4	0.3			
	H73	50	735	103				2.4	0.3	2.4	0.3			
	H74	51	735	99				2.4	0.3	2.4	0.3			
	H75	52	735	96				2.4	0.3	2.4	0.3			
	H76	53	735	92				2.4	0.3	2.4	0.3			
	H77	54	735	88				2.4	0.3	2.4	0.3			
	H78	55	735	85				2.4	0.3	2.4	0.3			
	H79	56	735	82				2.4	0.3	2.4	0.3			
	H80	57	735	79				2.4	0.3	2.4	0.3			
	H81	58	735	76				2.4	0.2	2.4	0.2			
H82	59	735	73				2.4	0.2	2.4	0.2				
H83	60	735	70				2.4	0.2	2.4	0.2				
H84	61	735	67				2.4	0.2	2.4	0.2				
H85	62	735	65				2.4	0.2	2.4	0.2				
H86	63	735	62				2.4	0.2	2.4	0.2				
H87	64	735	60				2.4	0.2	2.4	0.2				
H88	65	735	57				2.4	0.2	2.4	0.2				
H89	66	735	55				2.4	0.2	2.4	0.2				
H90	67	735	53				2.4	0.2	2.4	0.2				
H91	68	735	51				2.4	0.2	2.4	0.2				
H92	69	735	49				2.4	0.2	2.4	0.2				
H93	70	735	47				2.4	0.2	2.4	0.2				
H94	71	735	45				2.4	0.1	2.4	0.1				
H95	72	735	44				2.4	0.1	2.4	0.1				
H96	73	735	42				2.4	0.1	2.4	0.1				
H97	74	735	40				2.4	0.1	2.4	0.1				
H98	75	735	39				2.4	0.1	2.4	0.1				
H99	76	735	37				2.4	0.1	2.4	0.1				
			51,876	14,335	179	14,514	7,714	5,057	174	51	7,888	5,107	2.84	9,407

様式-5 費用対便益

水系名：高津川

河川名：高津川，派川，白上川，匹見川 単位（百万円）

区分	年度	t	便益B				費用C						費用 便益費 B/C	純現在 価値 B-C	
			便益①		残存 価値 ②	計 ①+②	建設費③		維持管理費④		計③+④				
			便益	現在 価値			費用	現在 価値	費用	現在 価値	費用	現在 価値			
既往 投資 額	H20	-3	0	0			0	0			0.0	0	0		
	H21	-2	0	0			0	0			0.0	0	0		
	H22	-1	0	0			0	0			0.0	0	0		
	H23	0	0	0			0	0			0.0	0	0		
現時 点から の 整備 期間	H24	1	0	0			240	231			0.0	240	231		
	H25	2	108	100			605	559	1.0	0.9	606	560			
	H26	3	346	308			473	421	1.0	0.9	474	422			
	H27	4	524	448			422	361	2.2	1.9	424	363			
	H28	5	537	442			422	347	2.2	1.8	424	349			
	H29	6	551	435			422	334	2.2	1.7	424	335			
	H30	7	580	441			343	261	2.4	1.8	345	262			
施設 完成 後の 評価 期間 (50年)	H31	8	583	426							2.4	1.7	2.4	1.7	
	H32	9	583	410							2.4	1.7	2.4	1.7	
	H33	10	583	394							2.4	1.6	2.4	1.6	
	H34	11	583	379							2.4	1.5	2.4	1.5	
	H35	12	583	364							2.4	1.5	2.4	1.5	
	H36	13	583	350							2.4	1.4	2.4	1.4	
	H37	14	583	337							2.4	1.4	2.4	1.4	
	H38	15	583	324							2.4	1.3	2.4	1.3	
	H39	16	583	311							2.4	1.3	2.4	1.3	
	H40	17	583	299							2.4	1.2	2.4	1.2	
	H41	18	583	288							2.4	1.2	2.4	1.2	
	H42	19	583	277							2.4	1.1	2.4	1.1	
	H43	20	583	266							2.4	1.1	2.4	1.1	
	H44	21	583	256							2.4	1.0	2.4	1.0	
	H45	22	583	246							2.4	1.0	2.4	1.0	
	H46	23	583	237							2.4	1.0	2.4	1.0	
	H47	24	583	227							2.4	0.9	2.4	0.9	
	H48	25	583	219							2.4	0.9	2.4	0.9	
	H49	26	583	210							2.4	0.9	2.4	0.9	
	H50	27	583	202							2.4	0.8	2.4	0.8	
	H51	28	583	194							2.4	0.8	2.4	0.8	
	H52	29	583	187							2.4	0.8	2.4	0.8	
	H53	30	583	180							2.4	0.7	2.4	0.7	
	H54	31	583	173							2.4	0.7	2.4	0.7	
	H55	32	583	166							2.4	0.7	2.4	0.7	
	H56	33	583	160							2.4	0.6	2.4	0.6	
	H57	34	583	154							2.4	0.6	2.4	0.6	
	H58	35	583	148							2.4	0.6	2.4	0.6	
	H59	36	583	142							2.4	0.6	2.4	0.6	
	H60	37	583	137							2.4	0.6	2.4	0.6	
	H61	38	583	131							2.4	0.5	2.4	0.5	
	H62	39	583	126							2.4	0.5	2.4	0.5	
H63	40	583	121							2.4	0.5	2.4	0.5		
H64	41	583	117							2.4	0.5	2.4	0.5		
H65	42	583	112							2.4	0.5	2.4	0.5		
H66	43	583	108							2.4	0.4	2.4	0.4		
H67	44	583	104							2.4	0.4	2.4	0.4		
H68	45	583	100							2.4	0.4	2.4	0.4		
H69	46	583	96							2.4	0.4	2.4	0.4		
H70	47	583	92							2.4	0.4	2.4	0.4		
H71	48	583	89							2.4	0.4	2.4	0.4		
H72	49	583	85							2.4	0.3	2.4	0.3		
H73	50	583	82							2.4	0.3	2.4	0.3		
H74	51	583	79							2.4	0.3	2.4	0.3		
H75	52	583	76							2.4	0.3	2.4	0.3		
H76	53	583	73							2.4	0.3	2.4	0.3		
H77	54	583	70							2.4	0.3	2.4	0.3		
H78	55	583	67							2.4	0.3	2.4	0.3		
H79	56	583	65							2.4	0.3	2.4	0.3		
H80	57	583	62							2.4	0.3	2.4	0.3		
			31,797	11,691	108	11,799	2,928	2,513	129	48	3,057	2,561	4.61	9,238	

事業費の内訳書

①全体事業(H20~H49)

河川事業

事業名	高津川直轄河川改修事業	(全体事業費)
-----	-------------	---------

評価年度	H23	再評価
------	-----	-----

区分	費目	工種	細別	単位	数量	金額 (百万円)	備考	
工事費				式	1	5,179		
	本工事費				式	1	5,119	
		河道掘削	土		千m ³	940	564	
			残土処理		"	251	929	処分
			"		"	689	1,680	有効利用
		築堤	土堤		"	5	12	
			特殊堤		"	7	52	
		護岸			千m ²	96	1,484	
		樋門樋管			ヶ所	2	5	
		堤防質的整備			百米	11	70	
		防災ステーション			ヶ所	1	166	
		排水機場			ヶ所	1	130	
		その他			式	1	27	CCTV等
		附帯工事費				式	1	60
	下水管移設				ヶ所	1	10	
その他				式	1	50	付帯道路・水路工等	
用地費及補償費				式	1	479		
	用地費			式	1	204		
	補償費			式	1	275		
間接経費等						3,377		
事業費 計						9,035		
維持管理費				式		178		

事業費の内訳書

②残事業(H24～H49)

河川事業

事業名	高津川直轄河川改修事業	(残事業費)
-----	-------------	--------

評価年度	H23	再評価
------	-----	-----

区分	費目	工種	細別	単位	数量	金額 (百万円)	備考	
工事費				式	1	4,635		
	本工事費				式	1	4,585	
		河道掘削	土		千m ³	940	564	
			残土処理		"	251	929	処分
			"		"	689	1,680	有効活用
		築堤	土堤		"	4	6	
			特殊堤		"	5	31	
		護岸			千m ²	95	1,350	
		樋門樋管			ヶ所	2	5	
	堤防質的整備			m	200	20		
附帯工事費				式	1	50		
	その他			式	1	50	付帯道路・水路工等	
用地費及補償費				式	1	348		
用地費				式	1	73		
補償費				式	1	275		
間接経費等						2,731		
事業費 計						7,714		
維持管理費				式		174		

事業費の内訳書

③当面整備(H24~H30)

河川事業

事業名	高津川直轄河川改修事業	(当面7年間)
-----	-------------	---------

評価年度	H23	再評価
------	-----	-----

区分	費目	工種	細別	単位	数量	金額 (百万円)	備考	
工事費				式	1	1,567		
	本工事費				式	1	1,517	
		河道掘削	土		千m ³	269	161	
			残土処理		"	269	664	有効活用
		築堤	土堤		"	4	6	
			特殊堤		"	5	31	
		護岸			千m ²	44	650	
		樋門樋管			ヶ所	2	5	
		附帯工事費				式	1	50
	その他				式	1	50	
用地費及補償費				式	1	348		
	用地費			式	1	73		
	補償費			式	1	275		
間接経費等						1,013		
事業費 計						2,928		
維持管理費				式		129		

高津川直轄河川改修事業
〔島根県への意見照会と回答〕

国中整企画第52号
国中整港計第25号
平成23年8月11日

島根県知事 殿

中国地方整備局長



中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る
対応方針(原案)の作成に係る意見照会について

貴職におかれましては、日頃から国土交通行政に対するご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当地方整備局管内における直轄事業については、国土交通省所管公共事業の再評価実施要領（以下「実施要領」という。）に基づき、事業採択後一定期間が経過している事業等について、その効率性、実施過程の透明性を図るべく、中国地方整備局事業監視委員会（以下「委員会」という。）において、再評価に係る対応方針(原案)について審議しております。

このたび、平成23年9月6日（火）に委員会を開催することとなりましたので、実施要領に基づき、委員会に諮る対応方針(原案)の作成にあたり、平成23年8月25日（木）までに、別紙について貴職のご意見を承りたく依頼いたします。

※ご意見の送付・問い合わせ先

中国地方整備局 企画部 企画課

課長補佐 浜崎

教習係長 木本

電話：082-221-9231

FAX：082-227-2651

(別紙)

【河川事業】

事業名	「対応方針(原案)」案※	備考
高津川直轄河川改修事業	継続	

※貴県の意見を踏まえ、「中国地方整備局事業監視委員会」へ諮る
対応方針(原案)を作成するためのものです。

【道路事業】

事業名	「対応方針(原案)」案※	備考
中国横断自動車道 尾道松江線(三次～三刀屋木次)	継続	

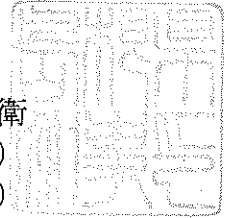
※貴県の意見を踏まえ、「中国地方整備局事業監視委員会」へ諮る
対応方針(原案)を作成するためのものです。

高推第37号

平成23年8月24日

中国地方整備局長 様

島根県知事 溝口 善兵衛
(土木部高速道路推進課)
(土木部河川課)



中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針(原案)の作成に係る
意見照会について(回答)

平成23年8月11日付け国中整企画第52号、国中整港計第25号で意見照会の
あった下記事業について、継続するとの対応方針(原案)については異存ありません。
なお、個別の事業についての意見は別紙のとおりです。

記

- ・高津川直轄河川改修事業
- ・中国横断自動車道尾道松江線(三次～三刀屋木次)



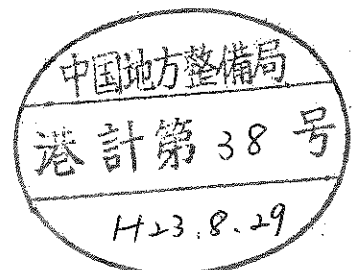
(担当)

高速道路推進課 安立

電話 0852-22-6134

河川課 若槻

電話 0852-22-6747



中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針(原案)案に対する意見

【河川事業】

事業名	高津川直轄河川改修事業
対応方針に対する意見 (対応方針：継続)	妥当である
<p>(意見)</p> <p>高津川は、下流部に人口と資産の集中する益田市街地を控え、戦後最大洪水である昭和47年7月洪水や昭和58年7月洪水などによって甚大な被害が発生しており、河川整備計画に基づき整備されることは有意義であり、今後とも継続して事業を実施し、早期完成を図っていただきたい。</p>	

【道路事業】

事業名	中国横断自動車道尾道松江線（三次～三刀屋木次）
対応方針に対する意見 (対応方針：継続)	妥当である
<p>(意見)</p> <p>中国横断自動車道尾道松江線は、事故・災害時の代替道路機能の確保や救急医療活動の支援に加え、陰陽を結ぶ広域的な交通ネットワークとして、地域産業の活性化、地域間交流の促進のため必要不可欠な路線であり、既に明示された年次での確実な供用を図っていただきたい。</p>	